

神田川整備工事(その211) 工事説明会

令和元年7月4日(木)

東京都第三建設事務所

青木あすなろ・都市建建設共同企業体

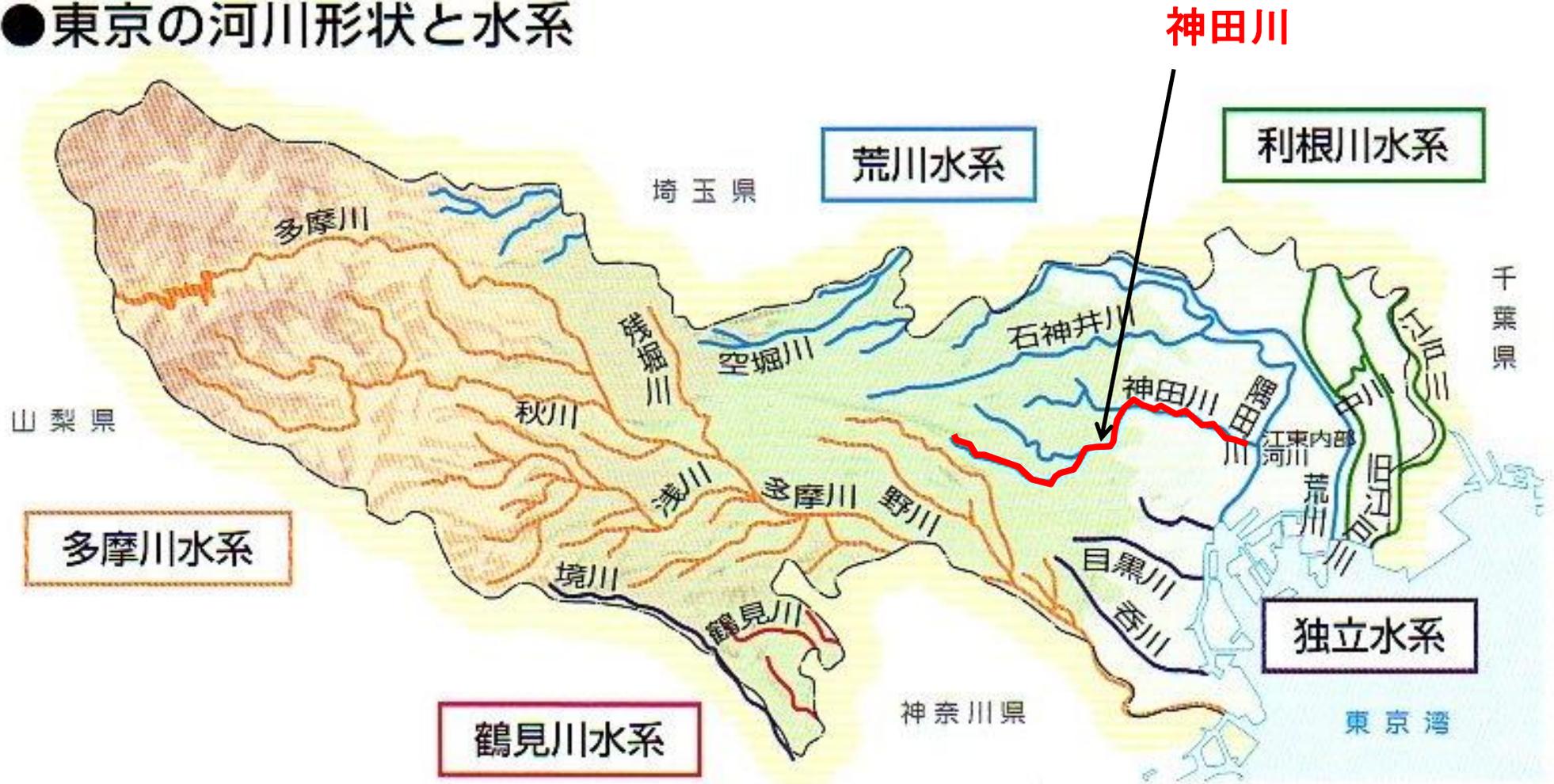
目次

1. 河川整備の概要
2. 工事概要
3. 工事に伴う家屋調査
4. 今後のスケジュール

河川整備の概要

東京の河川形状と水系

●東京の河川形状と水系

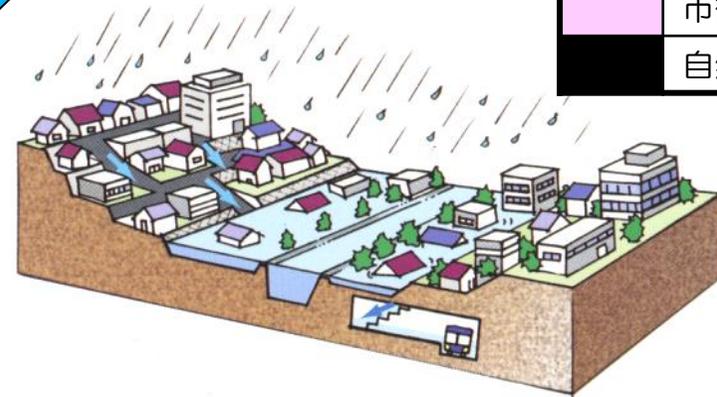
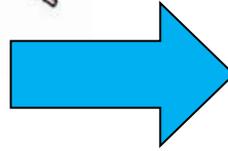
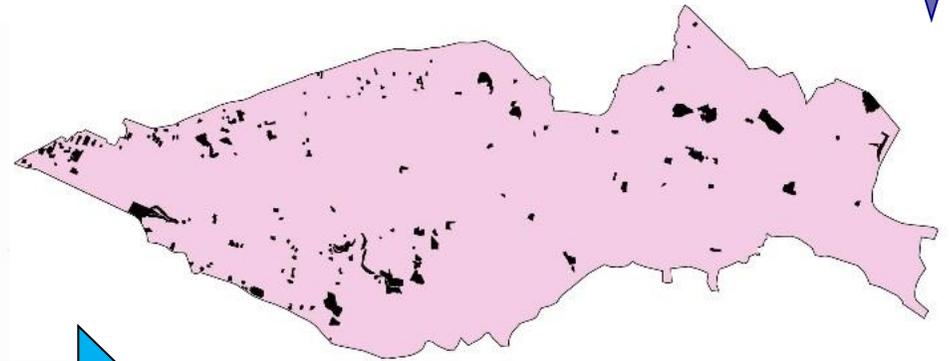
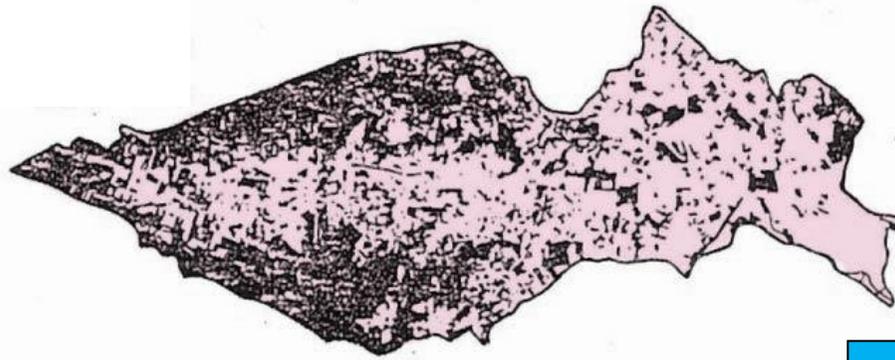


神田川の都市化

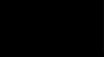
●神田川流域市街化変遷図

昭和20年代初期（市街化率約60%）

平成15年（市街化率約97%）



凡 例

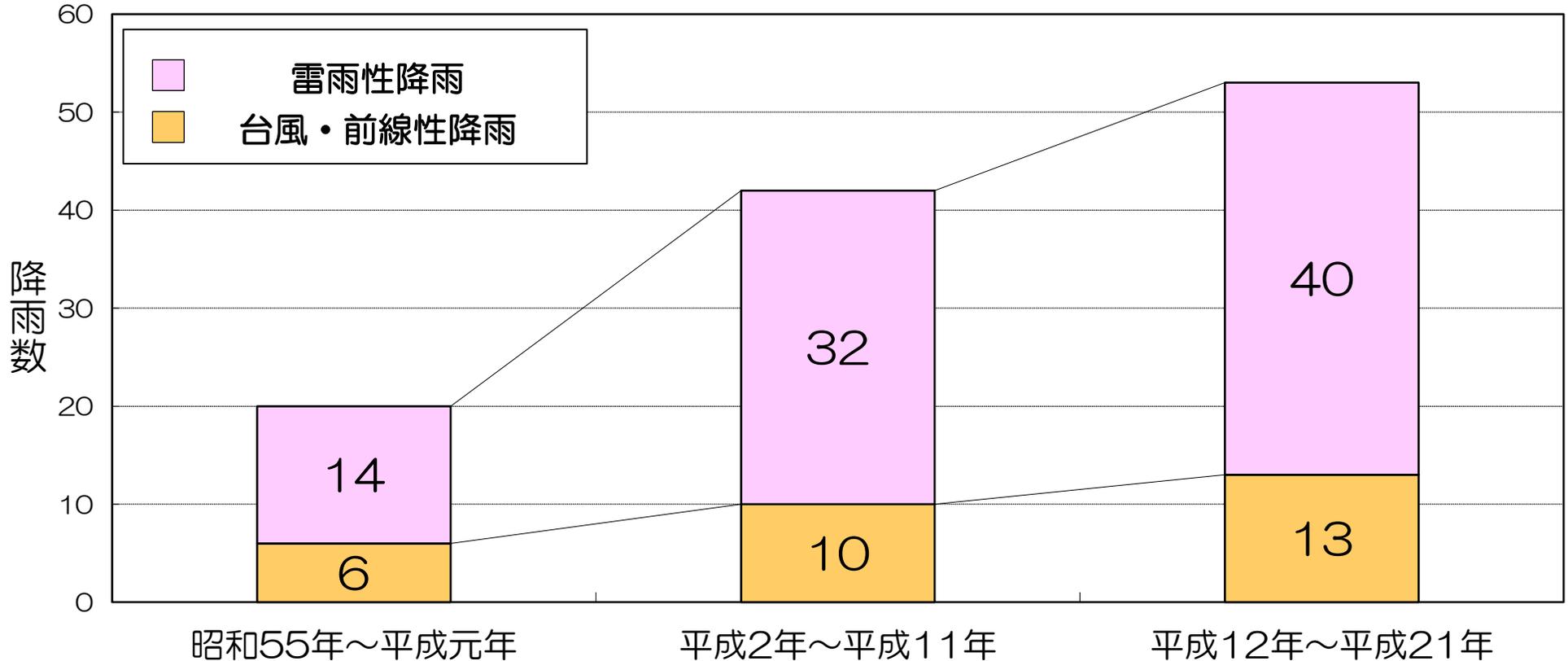
	市街地
	自然地（田畑等）

都市域では、土地利用の高度化により被害が増加し、都市機能の麻痺や地下空間の浸水被害など、都市型水害としての課題が顕在化しています。

近年の降雨状況の変化

時間50ミリを超える雷雨性降雨が増加傾向

50ミリ計画超降雨数（都内全域）



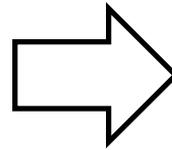
出展:「東京都内の中小河川における今後の整備のあり方について最終報告書」(平成24年11月)より

新たな整備方針における整備の考え方

「中小河川における都の整備方針～今後の治水対策～」(平成24年11月)
「東京都豪雨対策基本方針(改定)」(平成26年6月)

■目標整備水準の引き上げ

これまでは
時間最大50ミリの降雨に対応



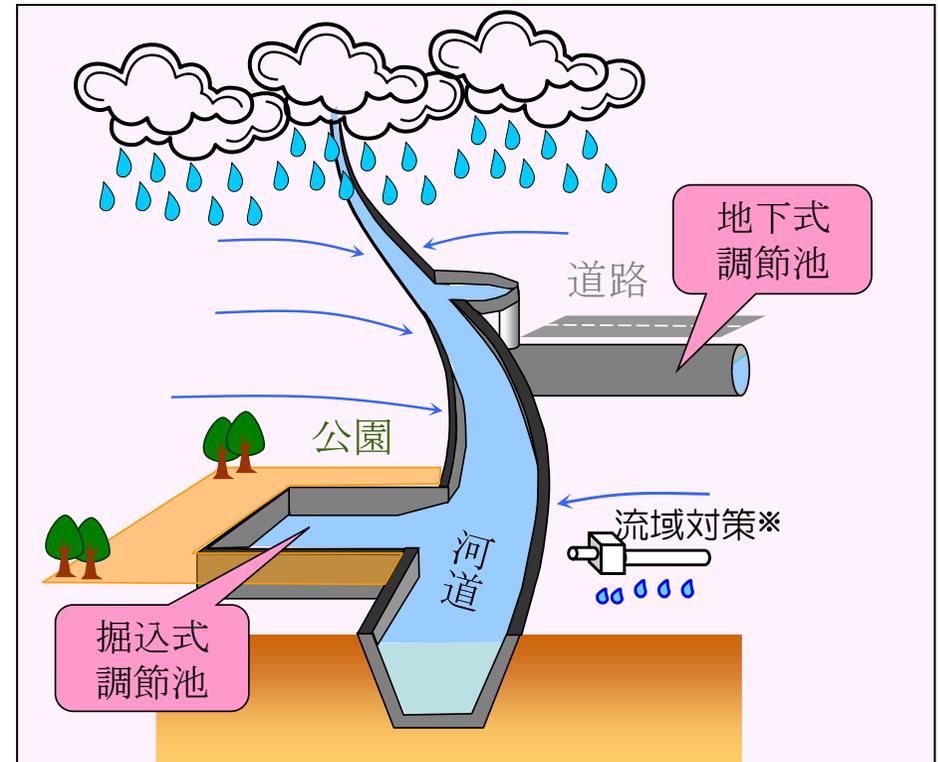
区部河川は、
時間最大75ミリの降雨に対応

■整備の考え方

- 時間50ミリ降雨まで
⇒ 河道で流す
- 時間50ミリを超える降雨
⇒ 調節池で貯める、地面に浸透させる

※流域対策

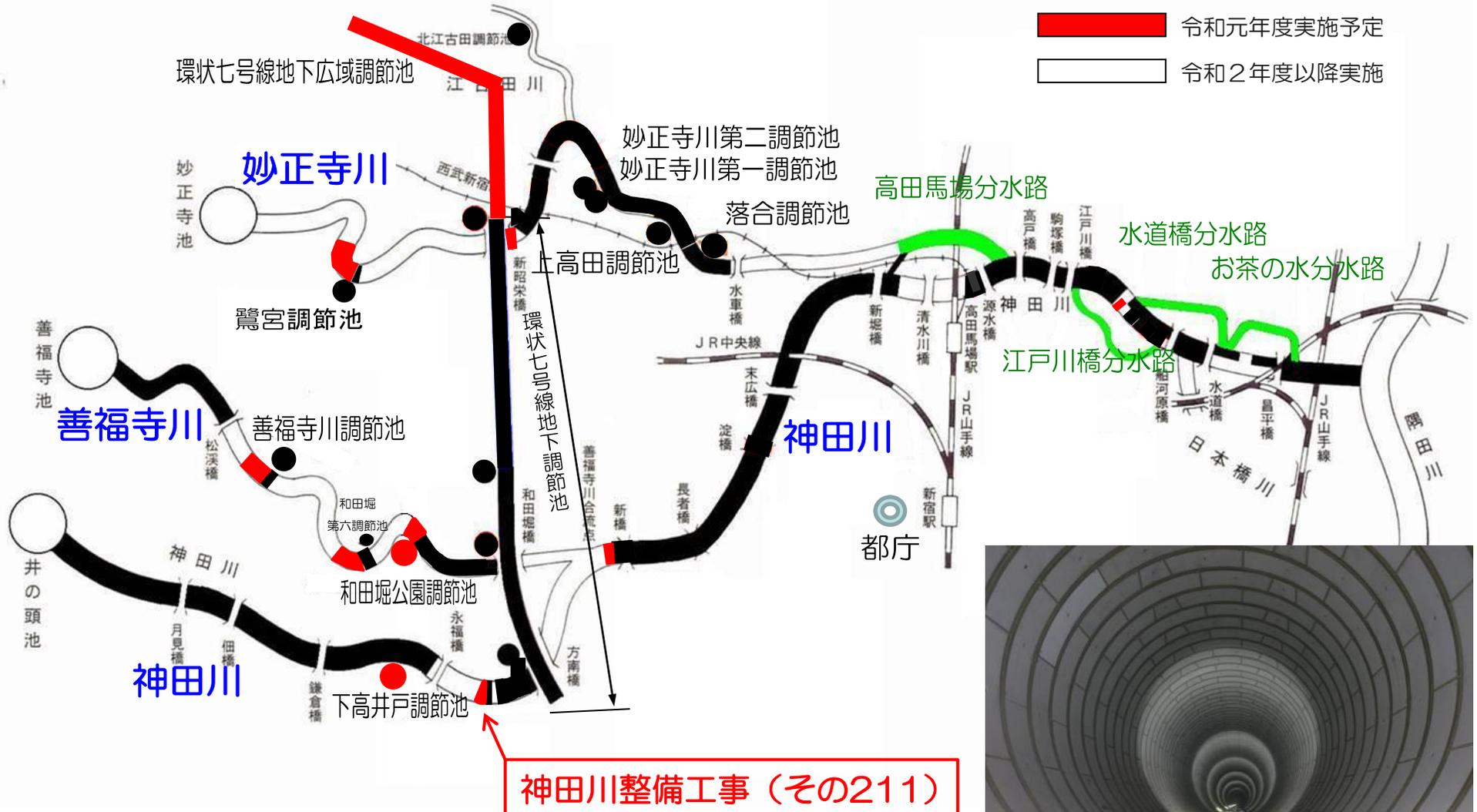
雨水貯留施設、透水性舗装や浸透ますなどにより、流域内に降った雨水が河川へ流出することを抑制



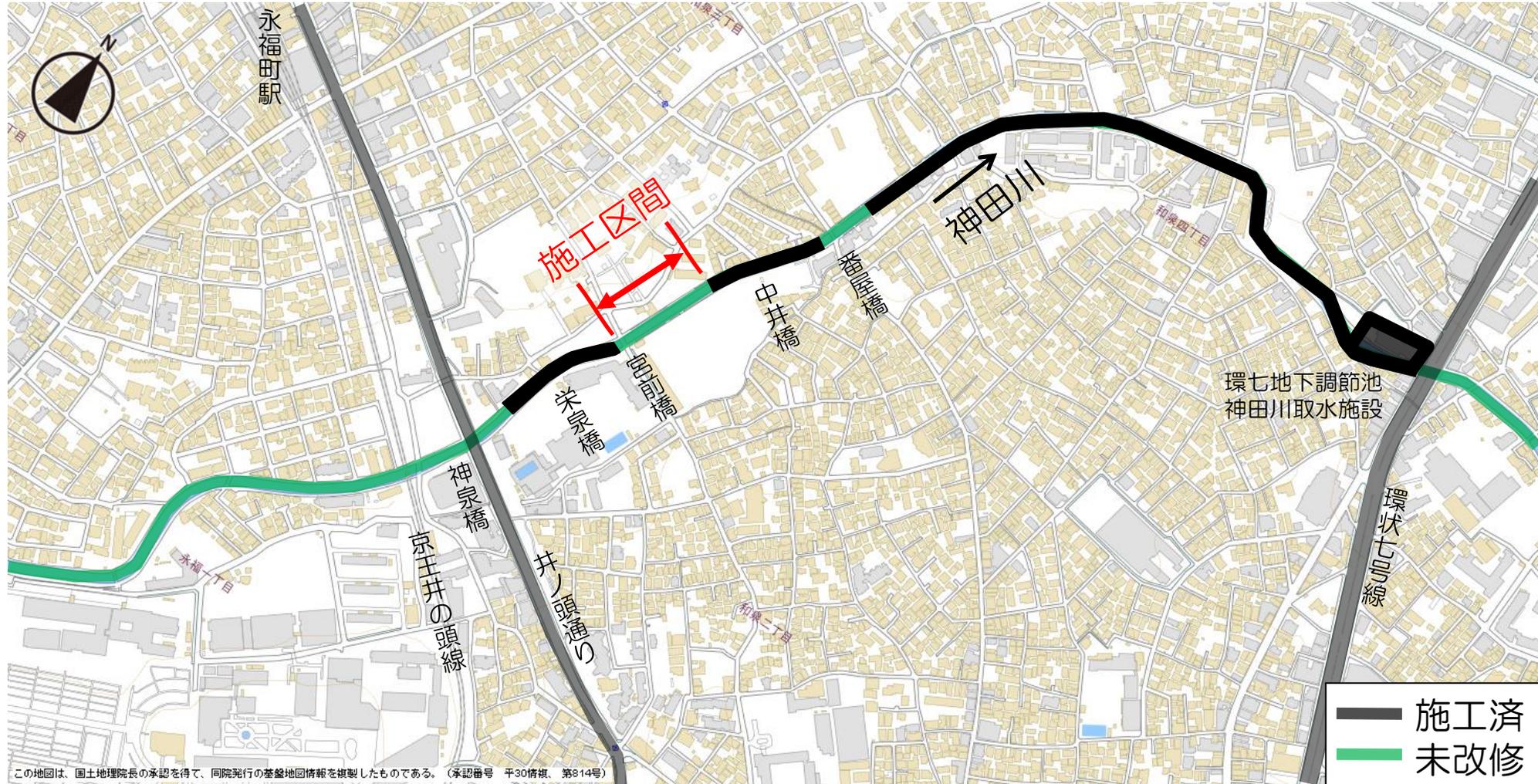
神田川水系の改修状況図

凡 例

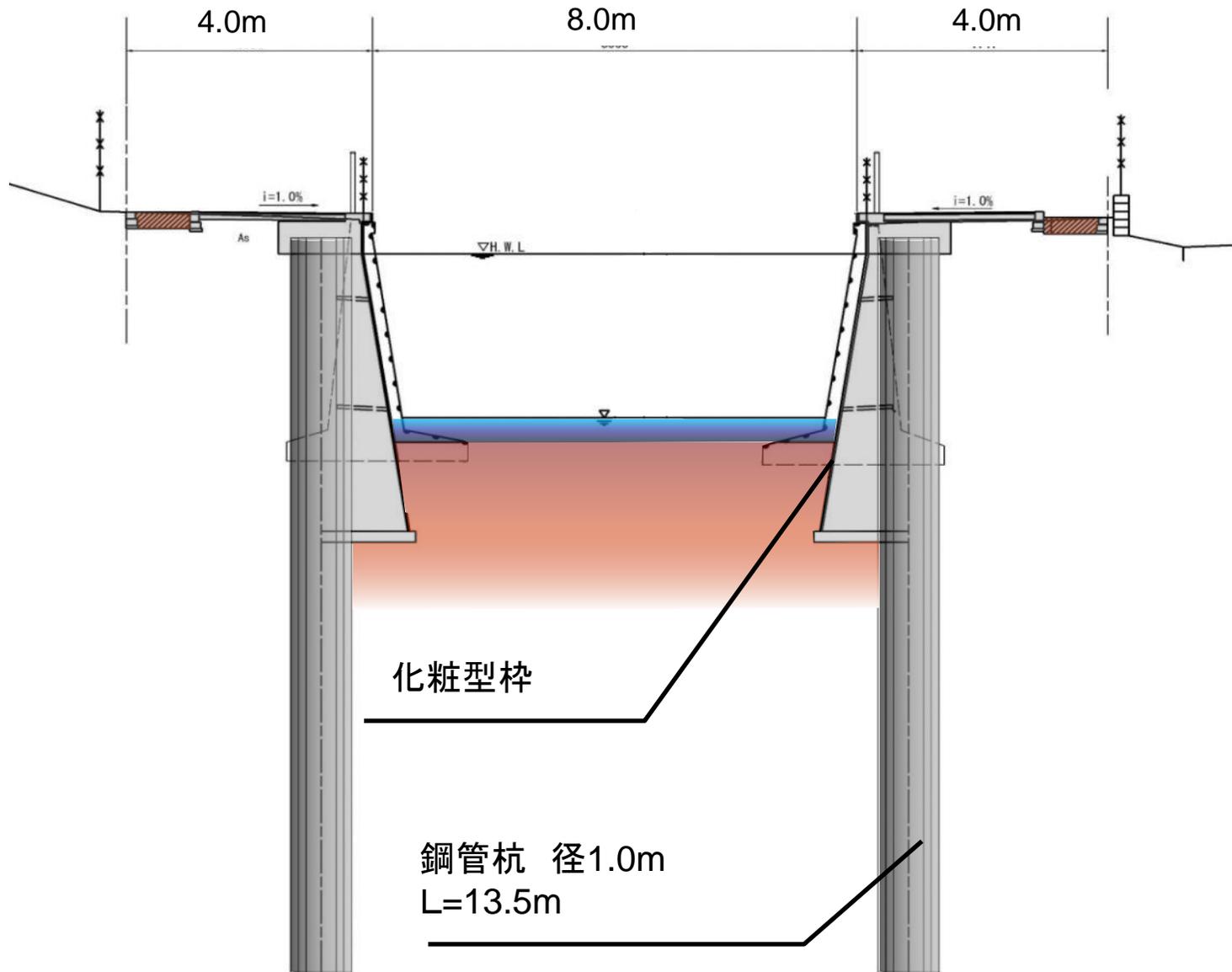
- 平成30年度迄実施済
- 令和元年度実施予定
- 令和2年度以降実施



神田川（環状七号線上流区間）の整備



標準横断面図



工事の概要

工事期間・施工時間

工事期間

令和元年 8月 5日から

令和 3年 2月下旬まで（予定）

※栄泉橋整備等の準備工事：7月5日から

施工時間

8：00 ～ 18：00

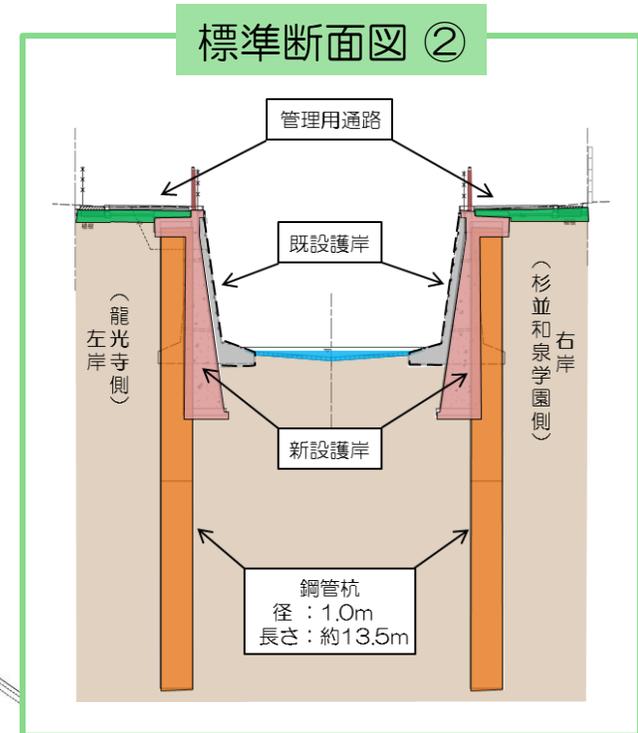
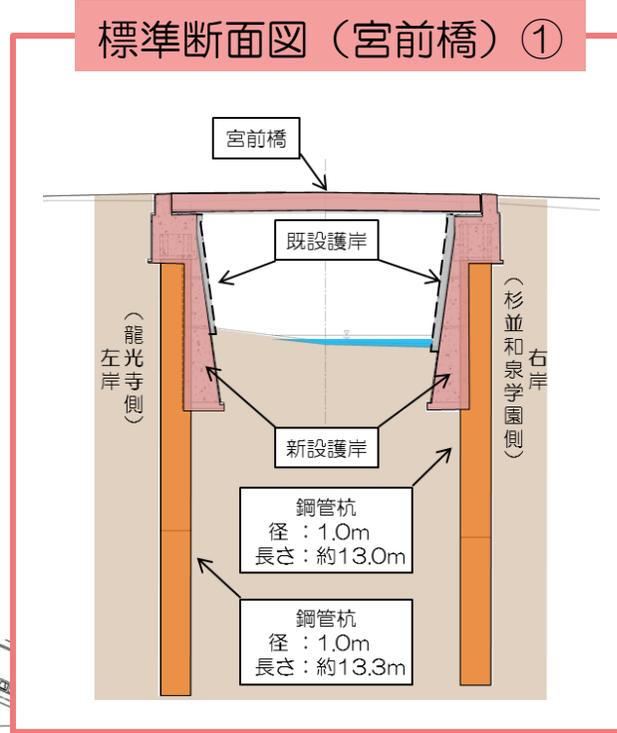
原則として土曜日・日曜日・祝日は作業を行ないません

（荒天等での作業中止や祝日を挟んだ週は、土曜日に作業を行う場合があります）

神田川整備工事（その211）工事範囲

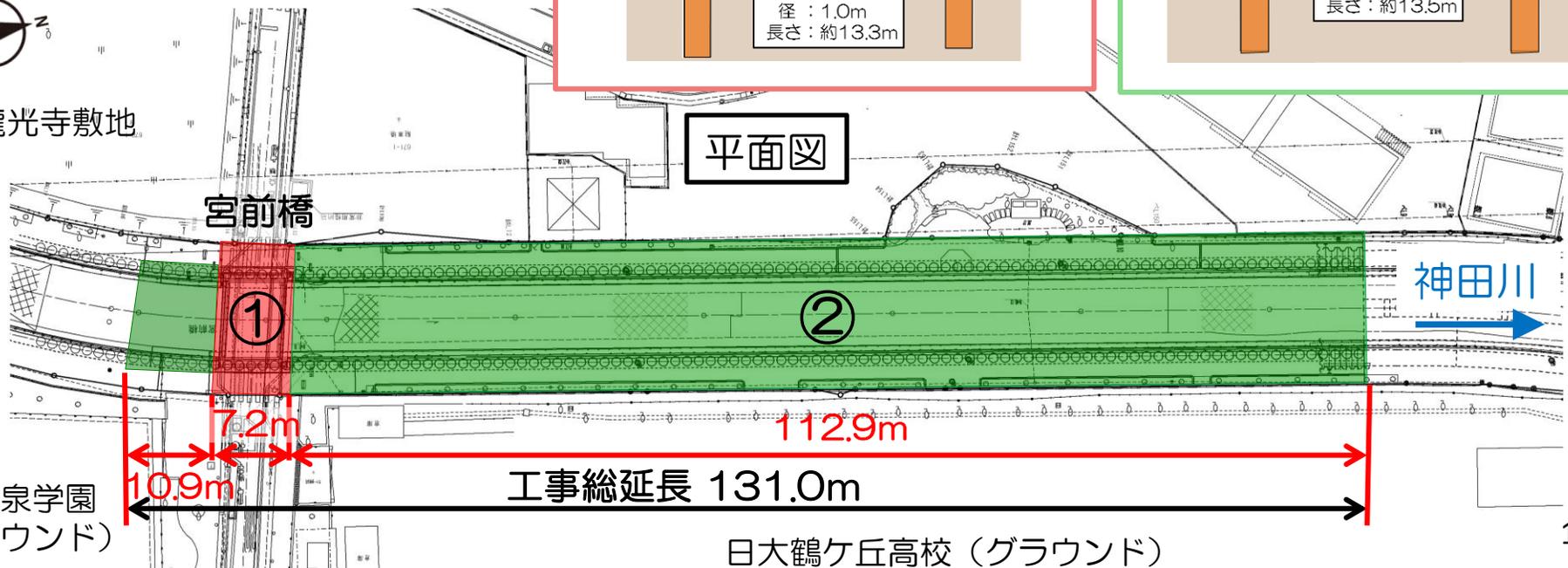


本工事完成後の護岸形状



龍光寺敷地

平面図



現況写真 1/2



宮前橋付近より下流を撮影
※令和元年6月に撮影

現況写真 2/2



中井橋付近より上流を撮影
※令和元年6月に撮影

将来イメージ写真



神田川整備工事（その211）

護岸工事の作業手順

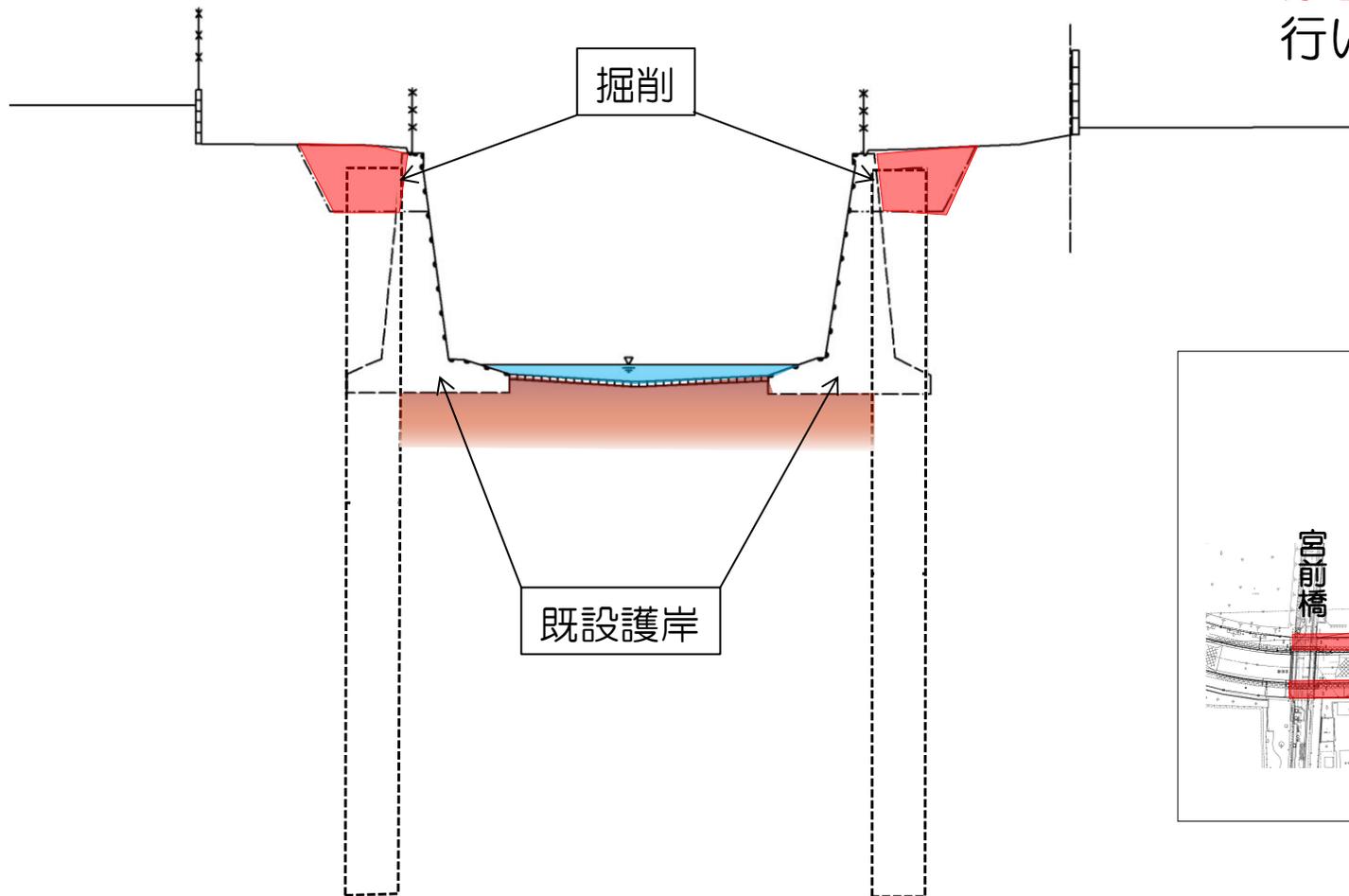
栄泉橋作業構台上通路について



ステップ①【宮前橋～中井橋上流側】

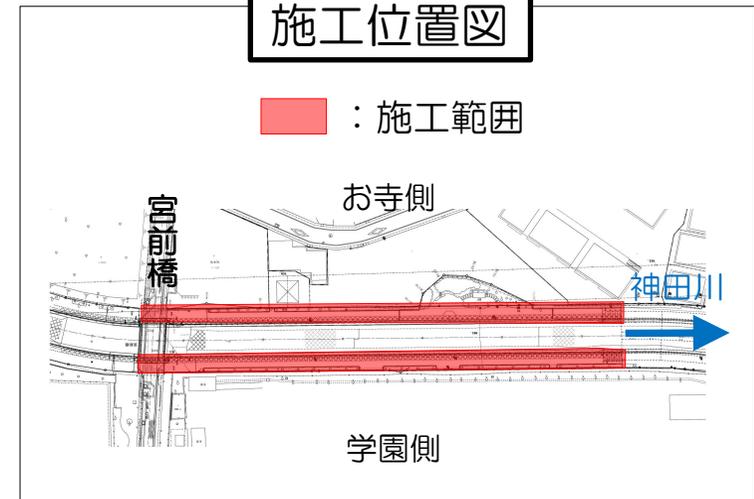
①

施工断面図



① 宮前橋から下流の赤色部分の掘削を行います。

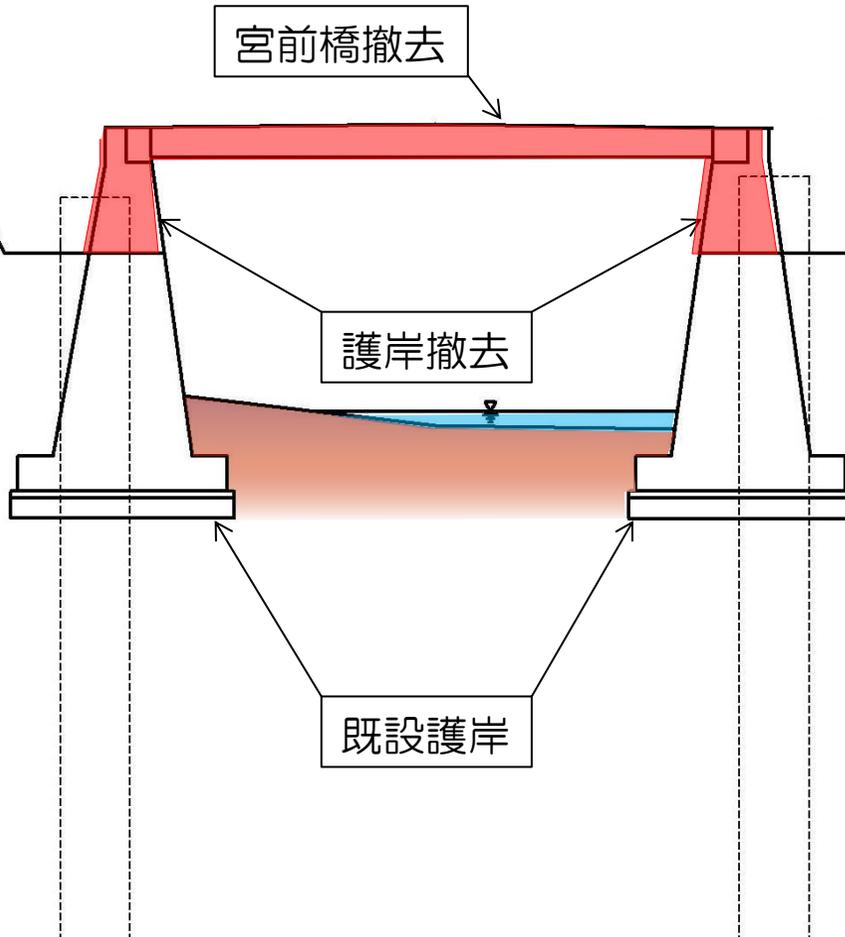
施工位置図



ステップ②【宮前橋】

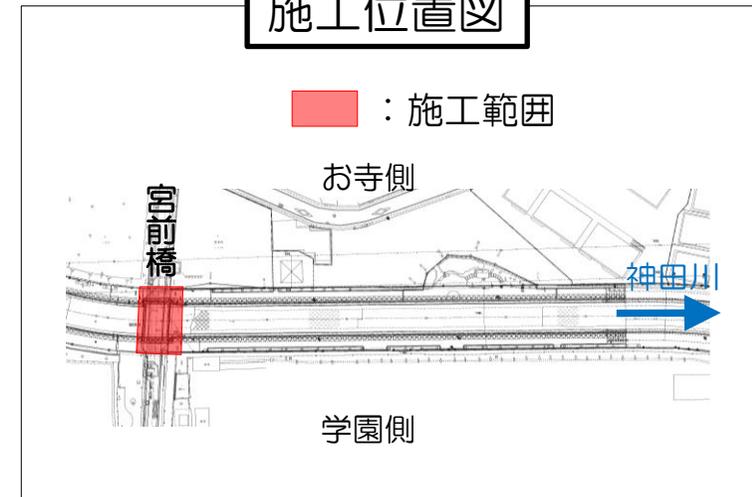
②

施工断面図



② 鋼管杭の圧入に先立ち、
赤色部分の既設護岸の一部
と宮前橋を撤去します。

施工位置図

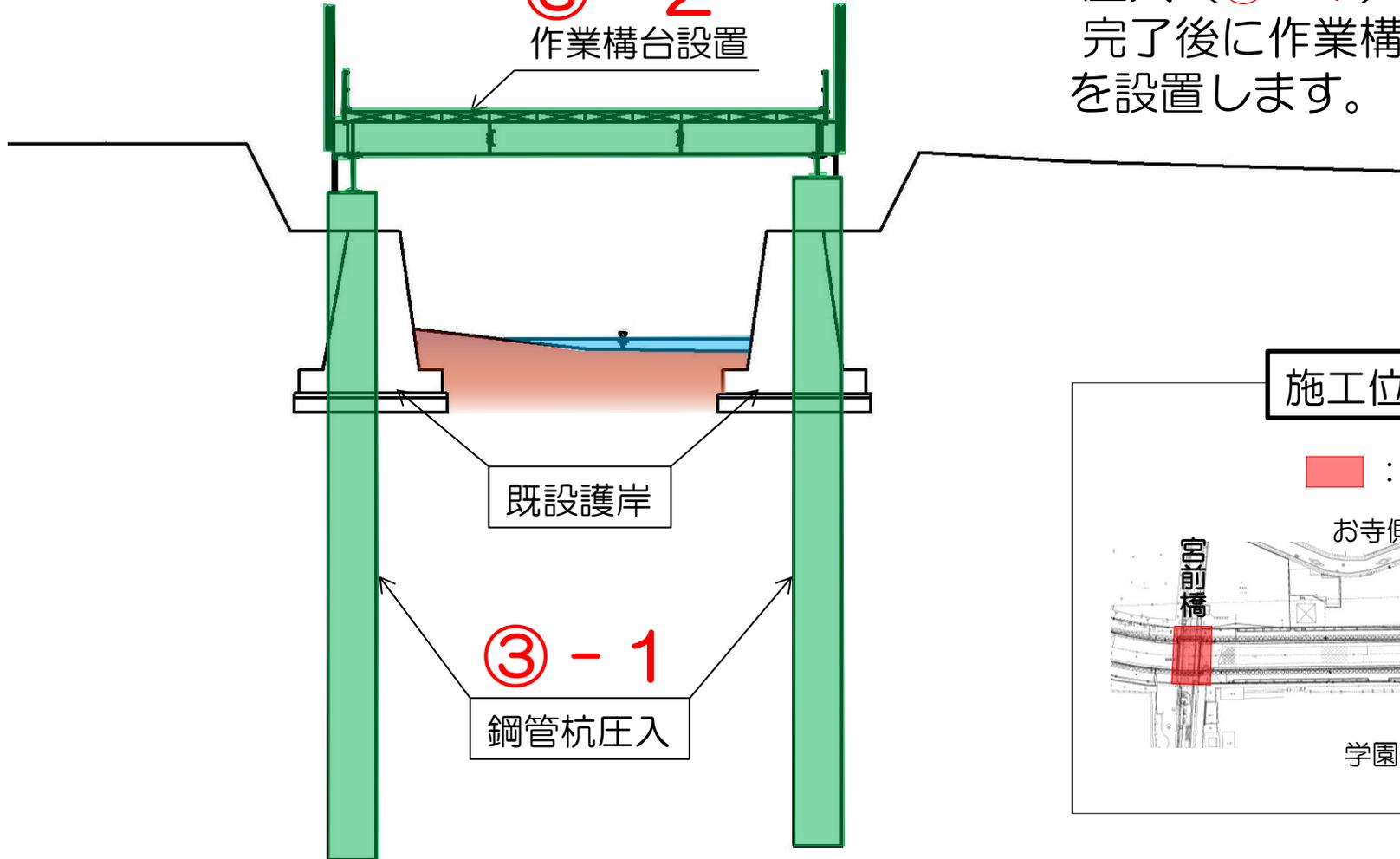


ステップ③【宮前橋】

③

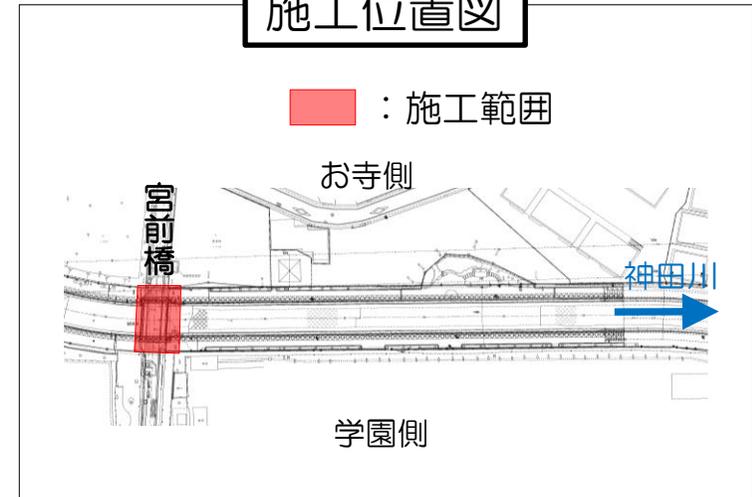
施工断面図

③-2
作業構台設置



③ 宮前橋の部分で鋼管杭の圧入（③-1）を行い、完了後に作業構台（③-2）を設置します。

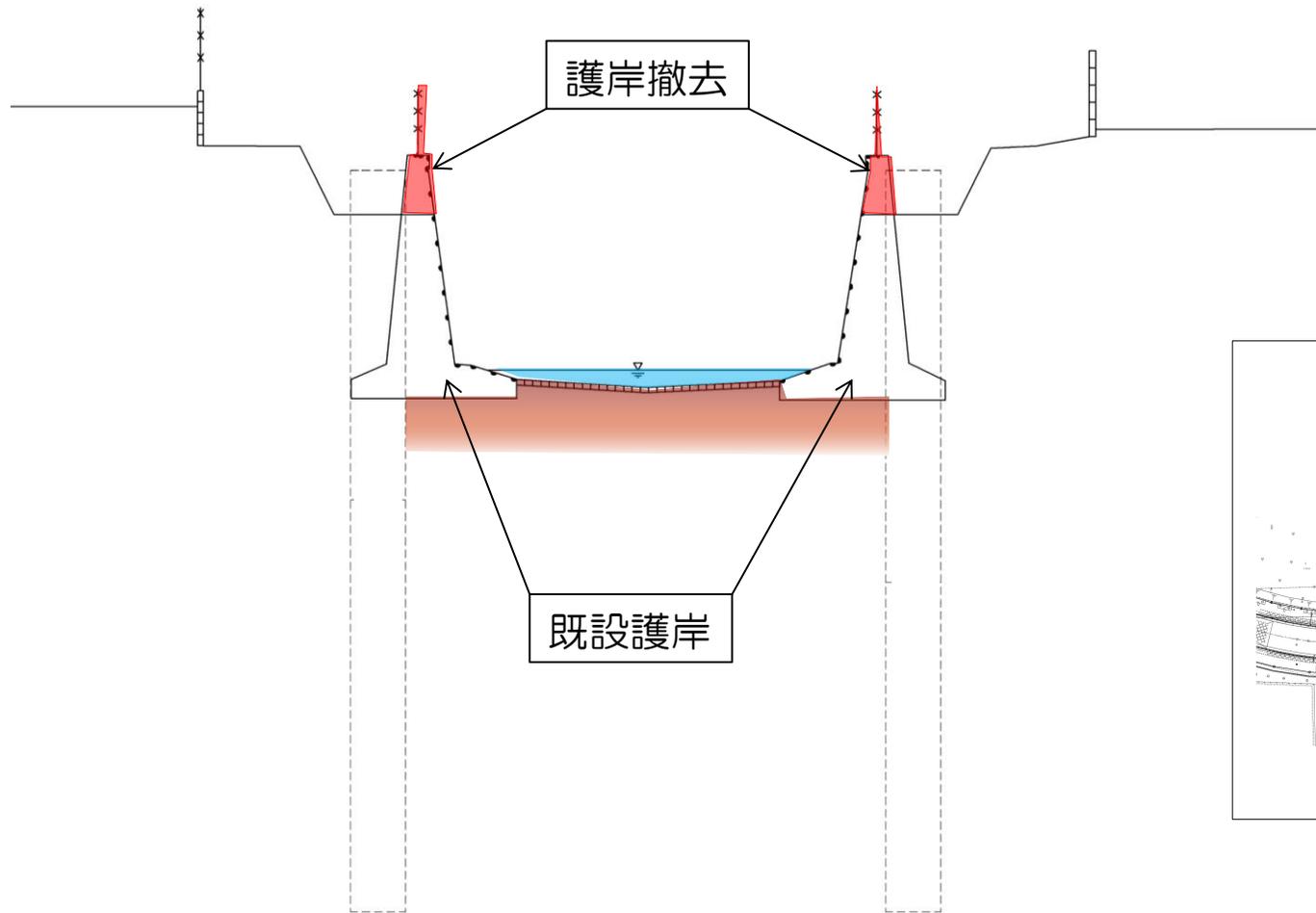
施工位置図



ステップ④【宮前橋～中井橋上流側】

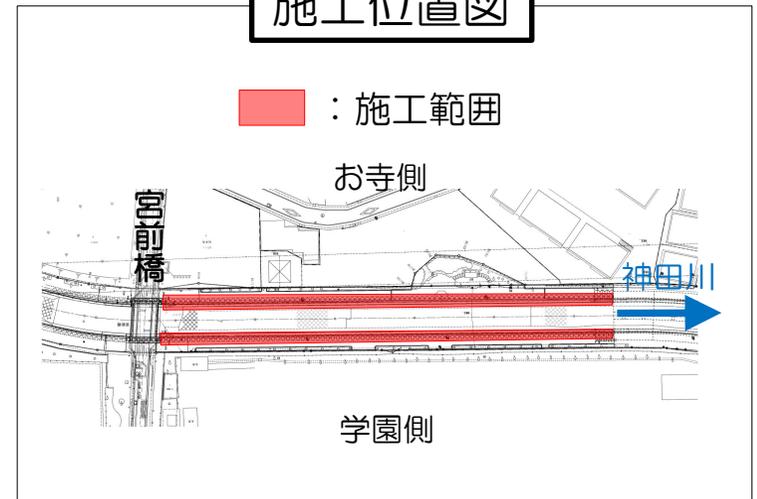
④

施工断面図



④ 鋼管杭の圧入に先立ち、
宮前橋から下流の赤色部分の
護岸を撤去します。

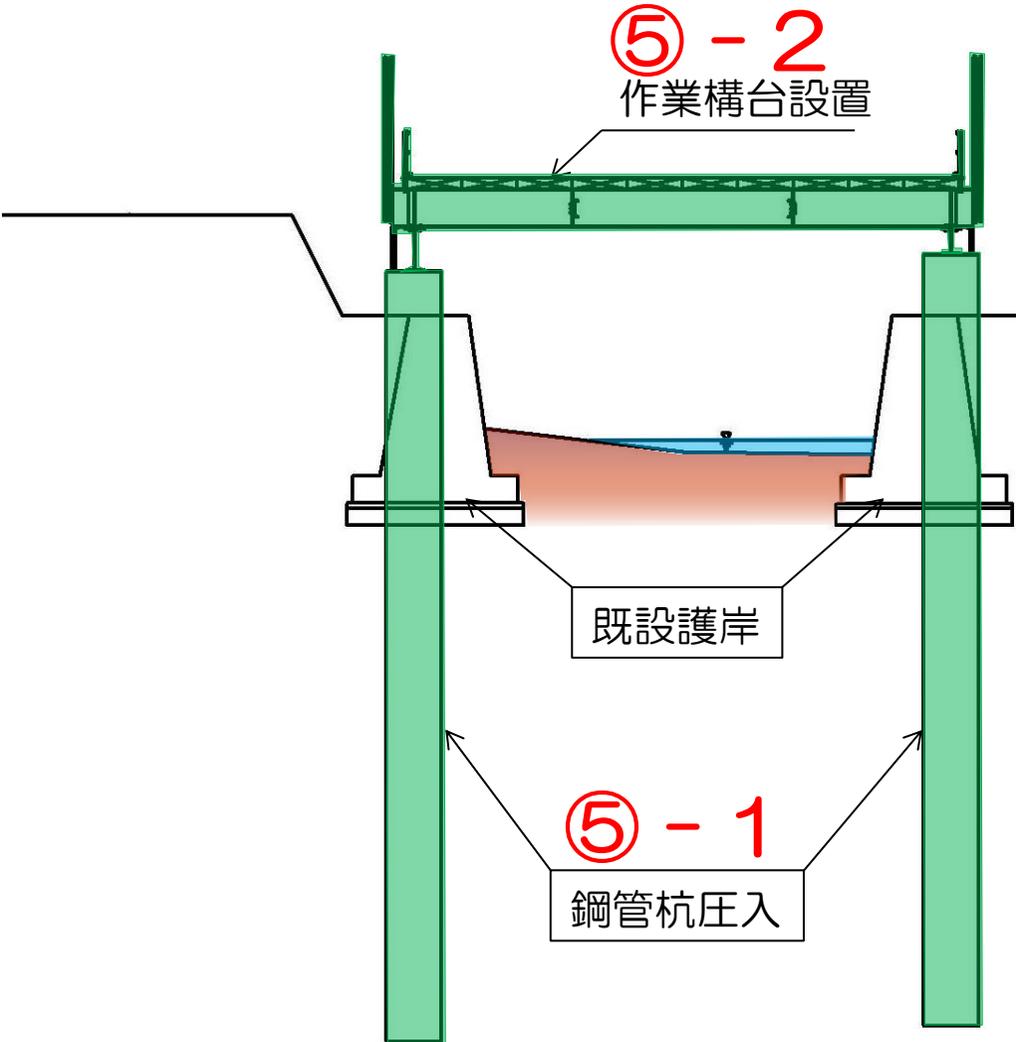
施工位置図



ステップ⑤【宮前橋～中井橋上流側】

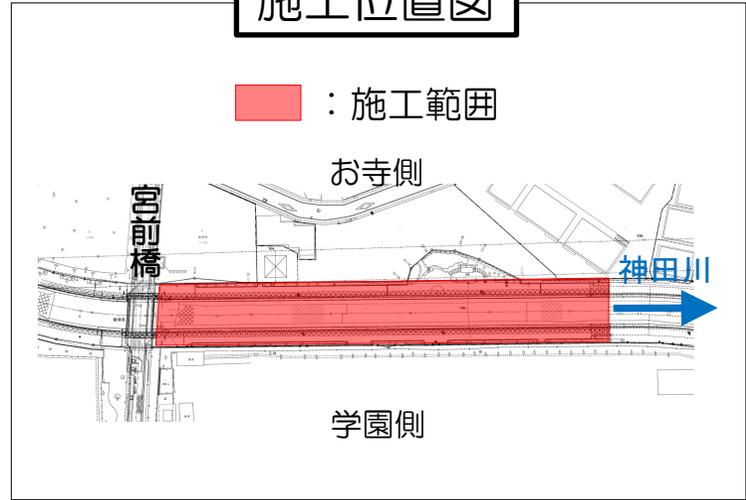
⑤

施工断面図



⑤ 鋼管杭の圧入（⑤-1）完了後、作業構台（⑤-2）を設置します。

施工位置図

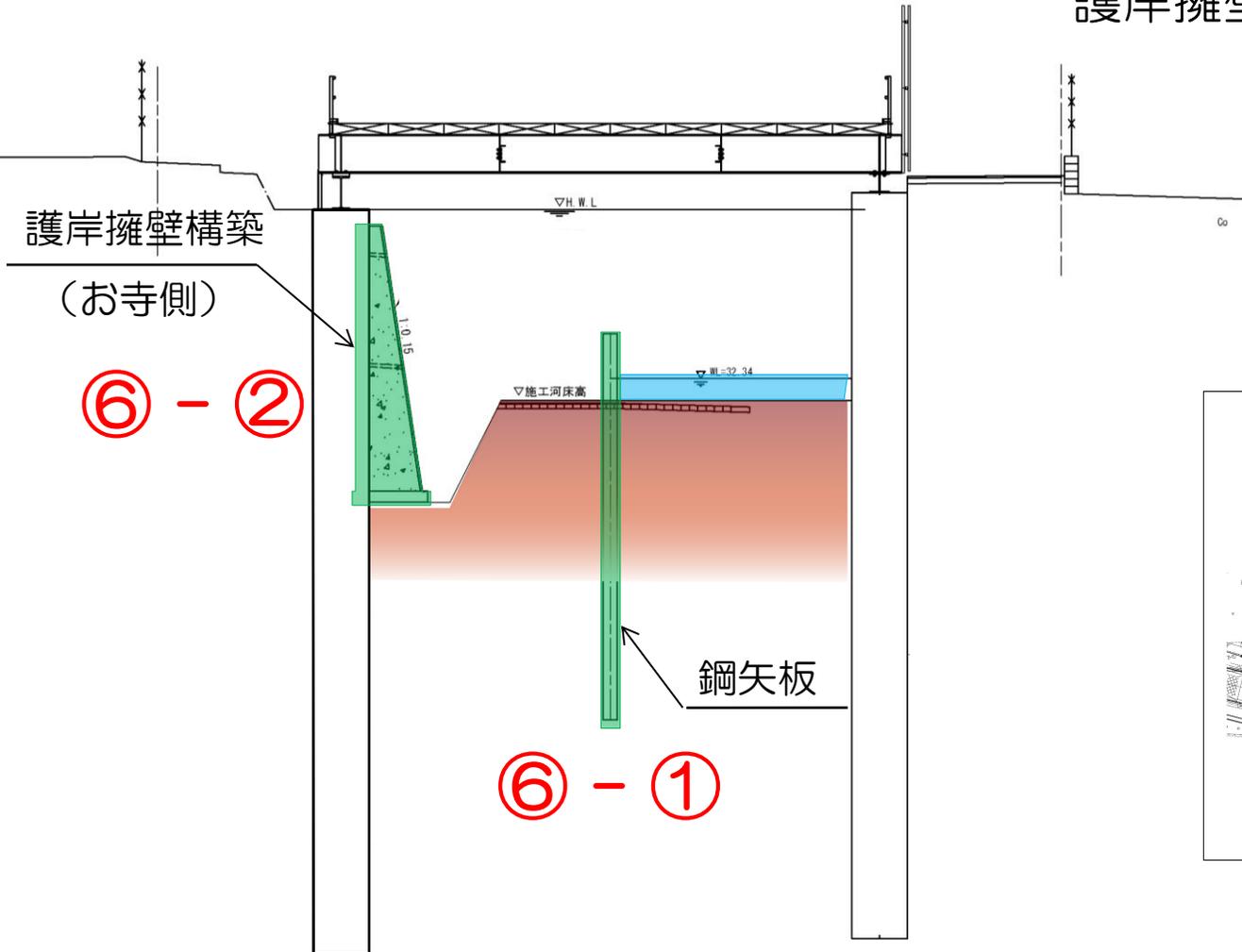


ステップ⑥【宮前橋下流側】

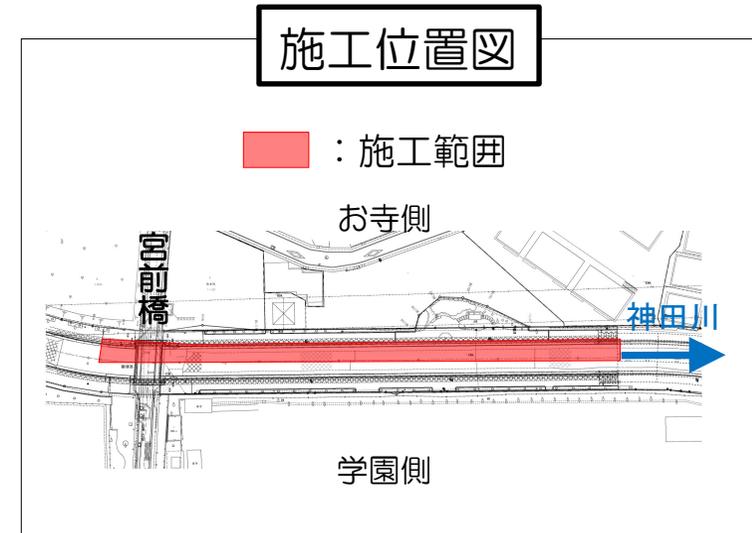
⑥

施工断面図

⑥ 鋼管杭と作業構台の施工が完了後、河川内に鋼矢板（⑥-1）を打設し、護岸擁壁（⑥-2）を構築します。



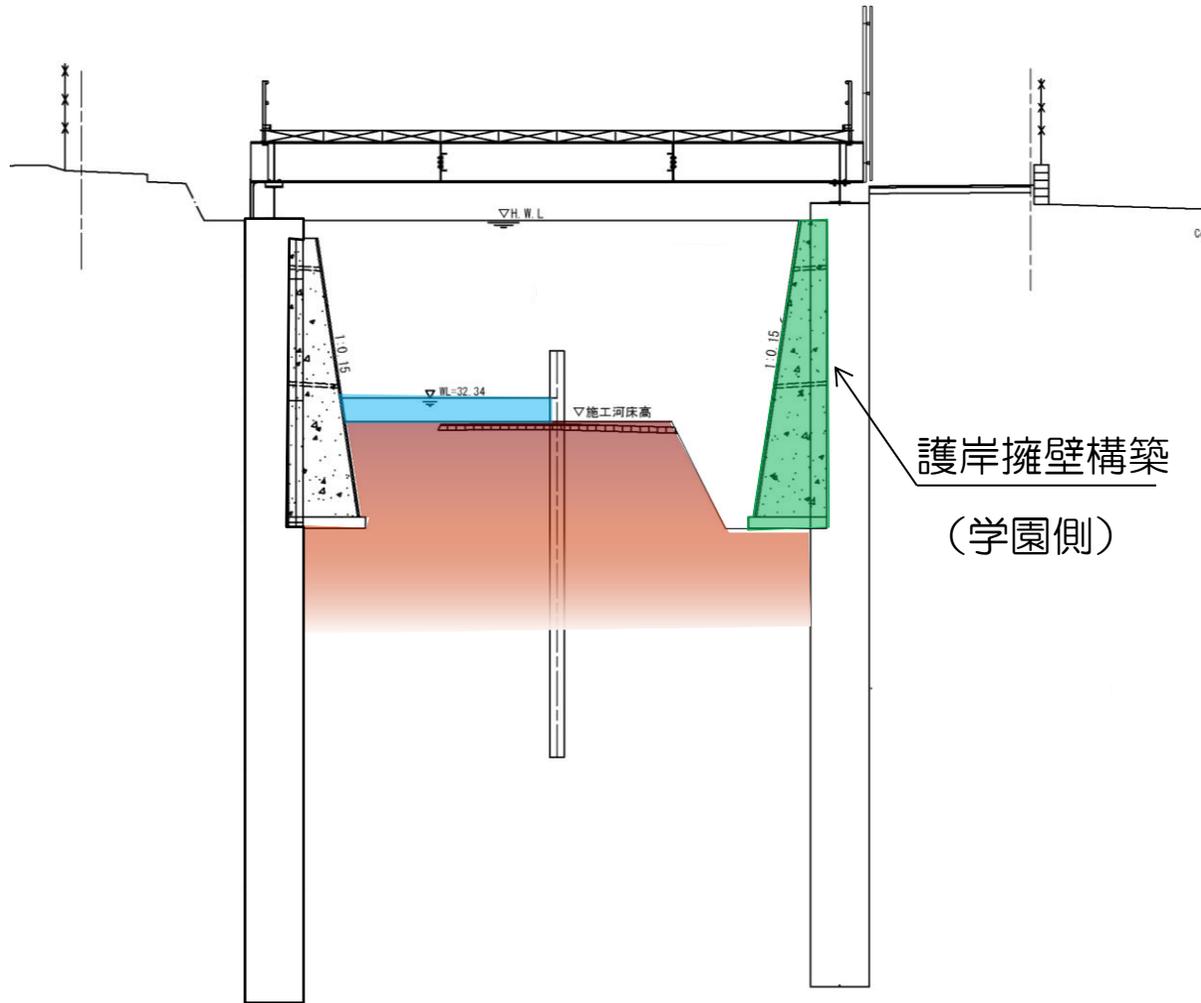
施工位置図



ステップ⑦【宮前橋下流側】

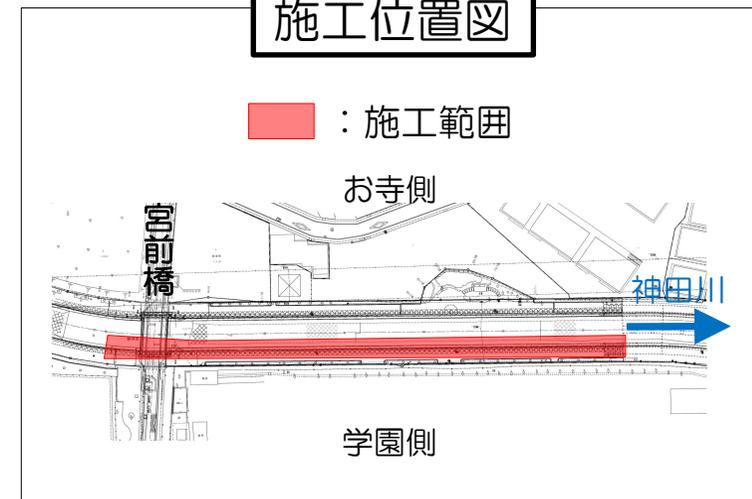
7

施工断面図



- ⑦ お寺側の護岸擁壁を構築後、同様に杉並和泉学園側も構築していきます。(緑色)

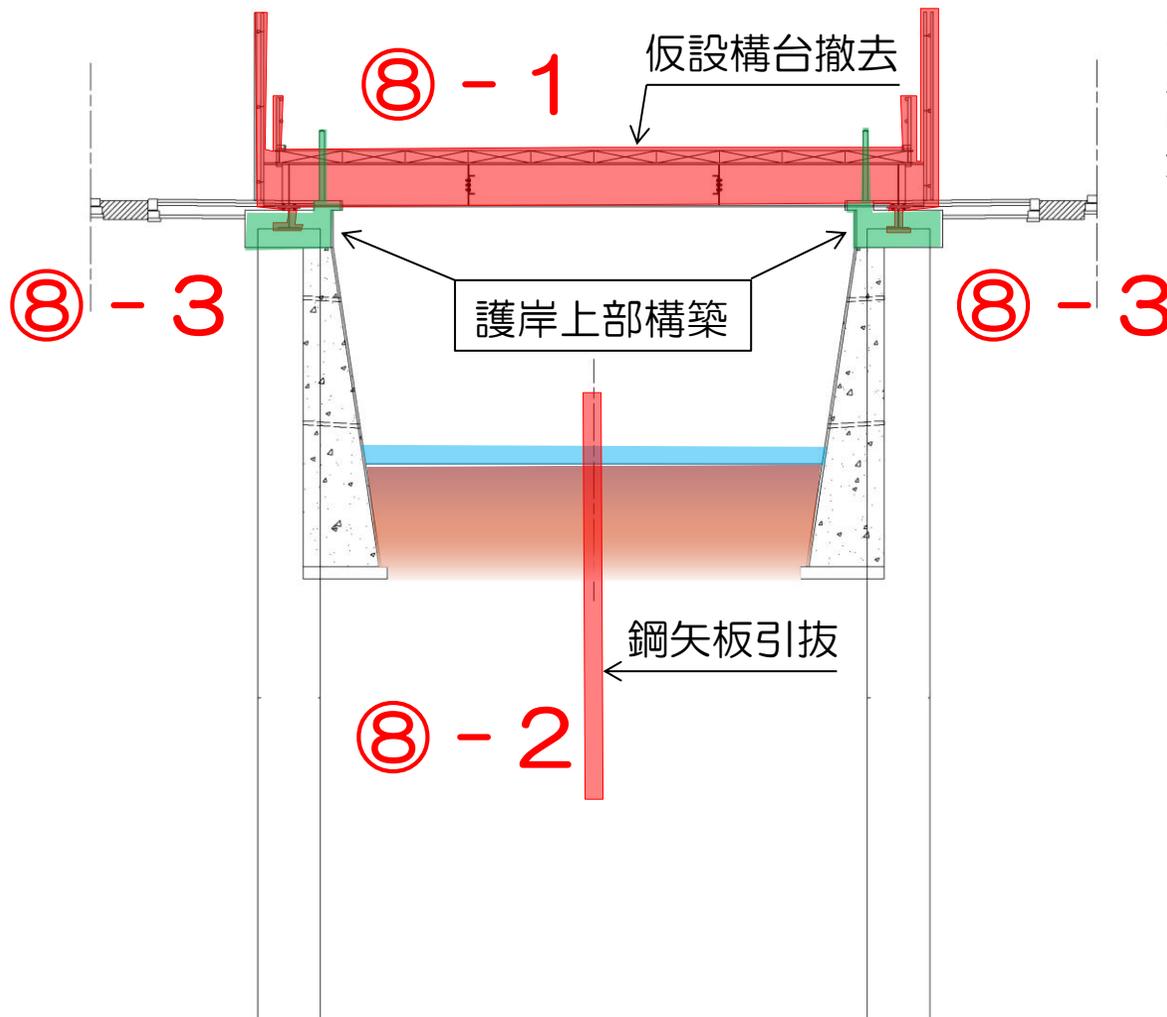
施工位置図



ステップ⑧【宮前橋下流側】

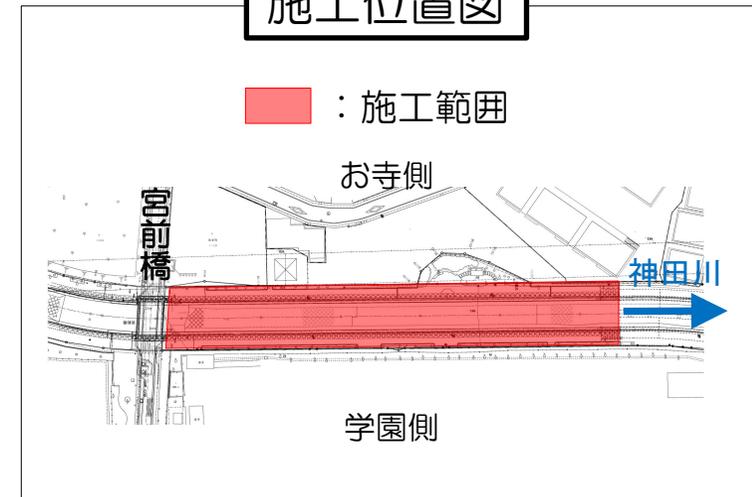
⑧

施工断面図



- ⑧ 両岸の護岸擁壁の構築が完了後、仮設構台（⑧-1赤色）を撤去し、河川内に打ってある鋼矢板を引抜き（⑧-2赤色）、護岸上部（⑧-3緑色）を構築します。

施工位置図

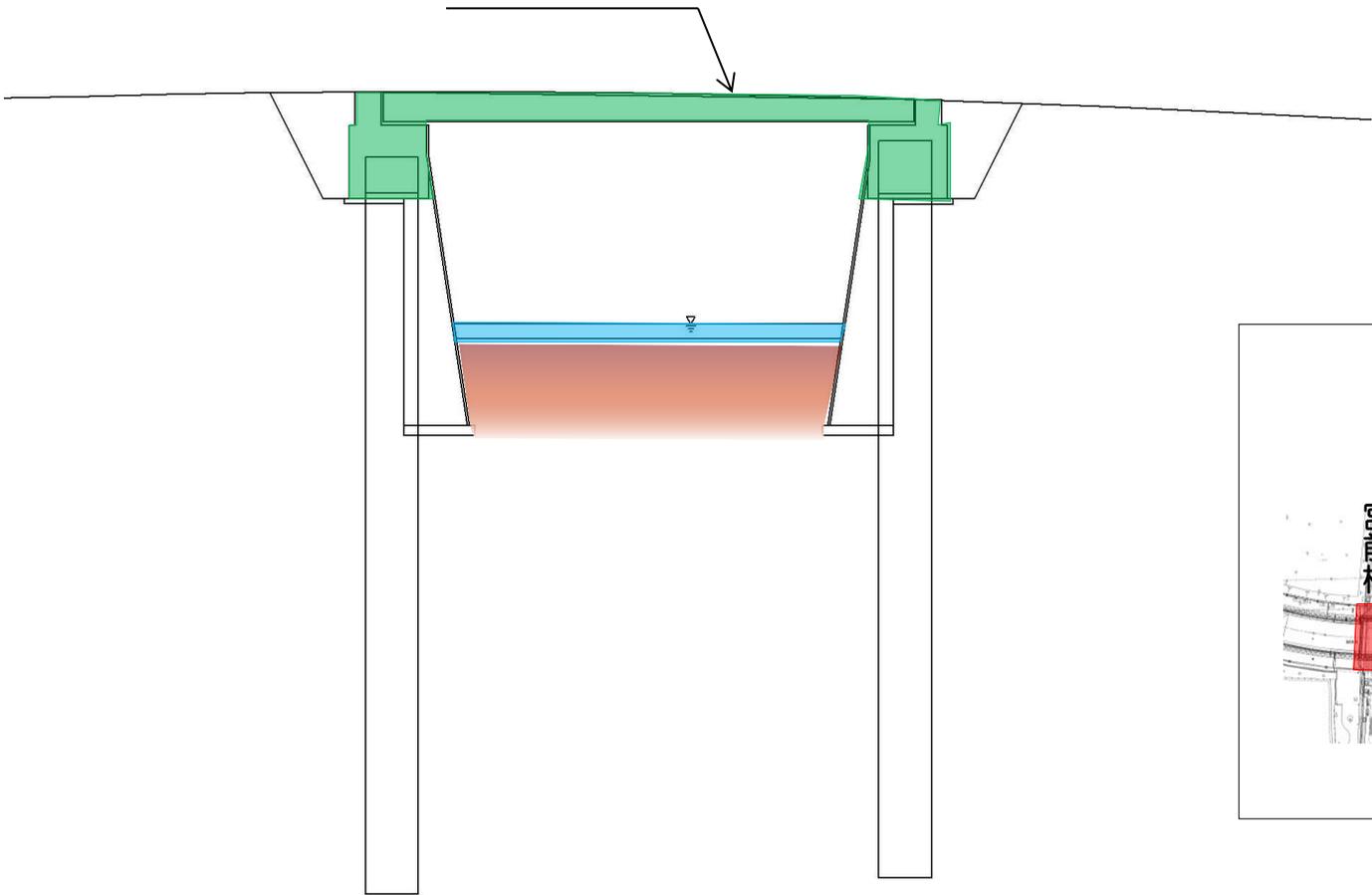


ステップ⑨【宮前橋】

⑨

施工断面図

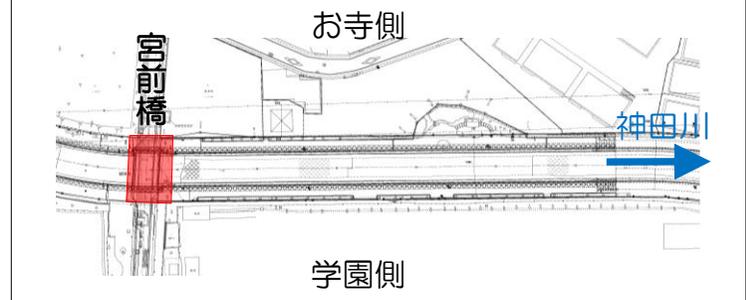
宮前橋構築



⑨ 仮設構台を撤去後、
宮前橋（緑色）の構築を行います。

施工位置図

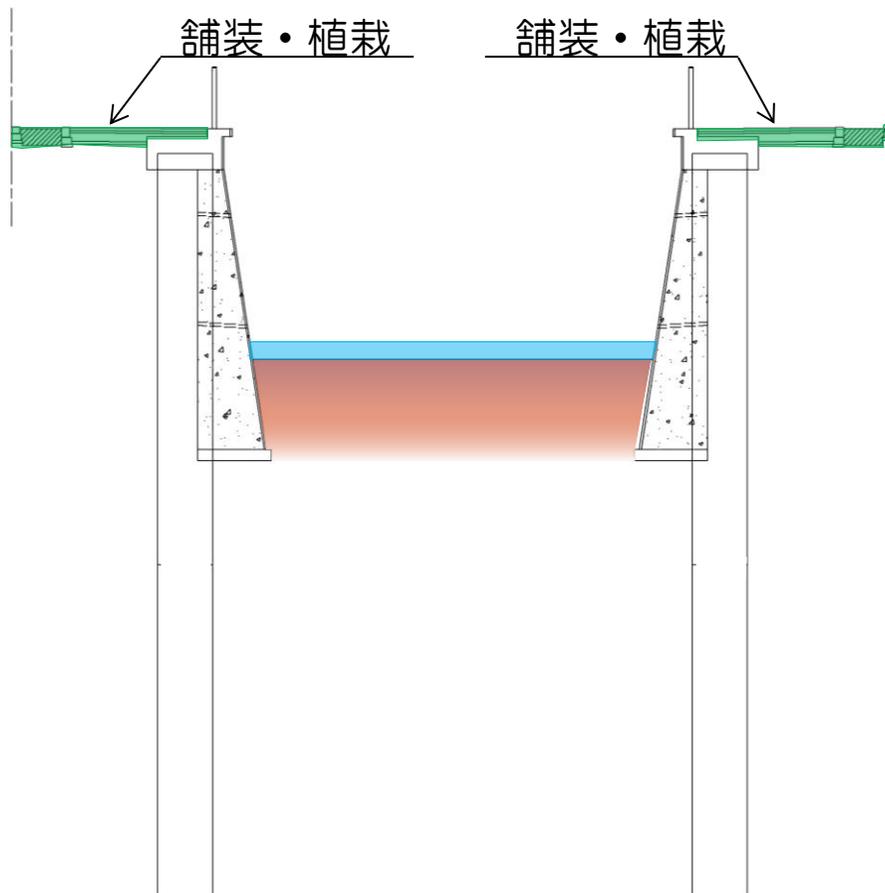
■：施工範囲



ステップ⑩【宮前橋～中井橋上流側】

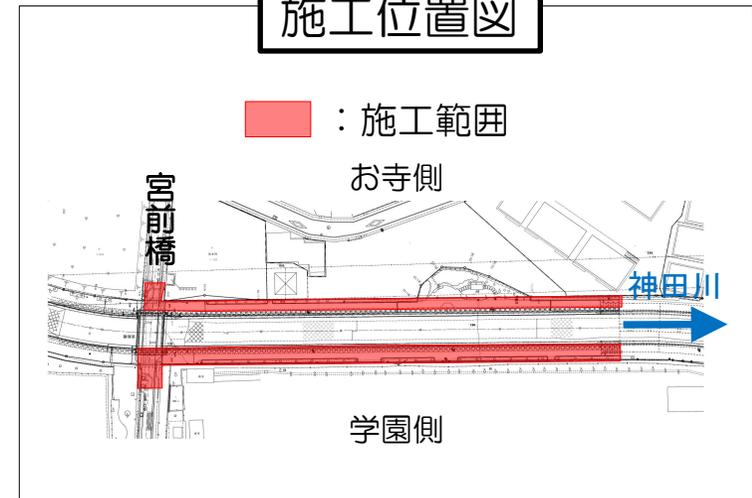
10

施工断面図

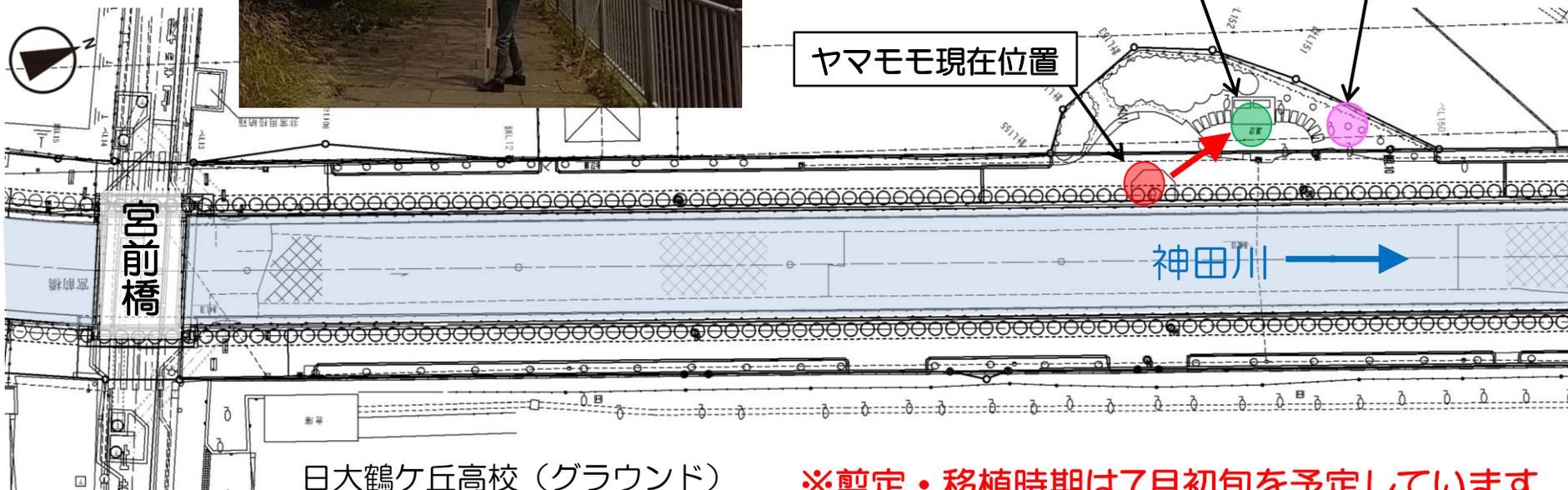


⑩ 宮前橋から下流側の舗装及び植栽（緑色）を行います。

施工位置図



樹木移植・桜剪定について



※剪定・移植時期は7月初旬を予定しています

工事の作業状況参考写真

鋼管杭打設状況



護岸施工状況



鋼矢板打設状況



神田川整備工事（その211）

工事工程

工程表

年月 工種	令和元年 (2019年)						令和2年 (2020年)												令和3年 (2021年)		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工 桜剪定・ヤマモモ移植等	■																				
栄泉橋通路整備工	■																				
宮前橋撤去工		■																			
護岸工※																					
下水道工（別途工事）																					
宮前橋整備工																					
片付工																					

※護岸工中に既設護岸取り壊しを行います（40日程度）
この際、振動と騒音が想定されます。
法令に定められた基準値を遵守し施工します。

工事着手が半年ほど遅れているため、
工期の延伸が見込まれます。
延伸期間が定まりましたらご案内ビラの配布や
工事看板等でお知らせします。

現在の通行止め区間



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1549号)

通行止めスケジュール

	令和元年 (2019年)					令和2年 (2020年)												令和3年 (2021年)					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
通行止め区間① (宮前橋ほか)	■																						
通行止め区間② (管理用通路)	■															※1							
通行止め区間③ (管理用通路)	■																				※1		



宮前橋と②、③の区間については、8月5日から通行止めとなります

※1
今後の工程により通行止め時期を変更する場合があります

※2
栄泉橋は7月16日(予定)から作業構台上を通行できます

車両・歩行者う回路計画

車両う回路



歩行者・自転車う回路



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1549号)

※ 車両う回路は3t 積車が規制されておりますので、対象車両は井ノ頭通り等をご通行下さい 36

本工事完成後の全体平面図



神泉橋

栄泉橋

宮前橋

神田川

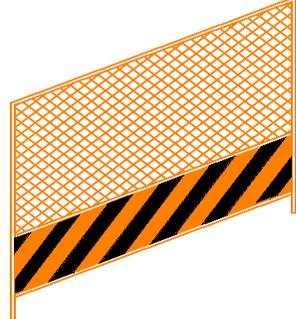
杉並和泉学園

日大鶴ヶ丘高校
グラウンド

仮囲い(高さ3m)

仮囲い(高さ1.8m)

- 通行止め範囲
- 仮囲い(高さ3m)
- 仮囲い(高さ1.8m)



神田川整備工事（その211）

安 全 対 策

安全対策基本事項

- ★ 現場出入口に交通誘導員を配置し、安全に通行できるようにいたします。
- ★ 騒音・振動には十分配慮して作業いたします。
- ★ 近隣の皆様の安全を最優先し、施工いたします。
- ★ 施工日は、杉並和泉学園の通学路と重なる搬出入路に交通誘導員を配置して、児童が安全に通学できるようにいたします。

施工日における交通誘導員配置・う回路案内



交通誘導員は施工日の日中に配置いたします

工事車両搬出入路線図 (Aルート)

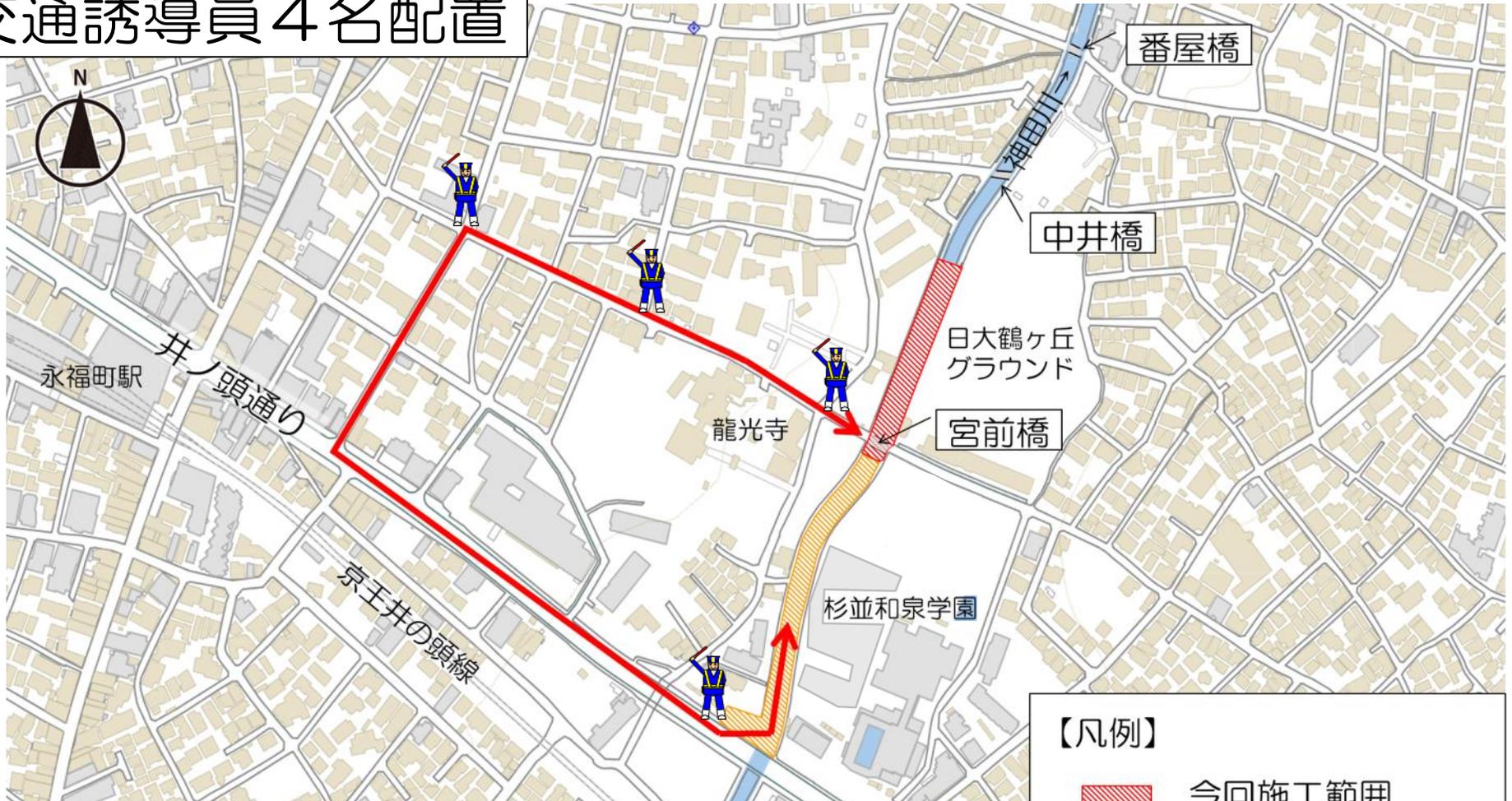
交通誘導員 1 名配置

搬入出品物に応じて交通誘導員の増員があります



工事車両搬出入路線図（Bルート）

交通誘導員4名配置



車両通行期間

- 1) 令和元年8月5日～令和元年9月末頃の1ヶ月程度
- 2) 令和2年12月下旬～令和3年2月下旬頃の2ヶ月間程度
- 3) その他工事期間中、ごく数台程度の通行を予定。

【凡例】

-  今回施工範囲
-  作業構台設置済範囲
-  車両搬出入路
-  交通誘導員

工事車両搬出入路線図 (Cルート)

交通誘導員4名配置



徐行・速度制限等プラカード



工事車両
20km/h制限！
徐行せよ！

上記の看板を搬出入路に配置した交通誘導員の胸にかけて、工事車両に提示します。

工事車両のフロントガラスに
下のプレートを掲示します

工 事 車 両
No.00

神田川整備工事(211)

青木あすなろ・都市建建設共同企業体

家屋調査について

家屋調査とは

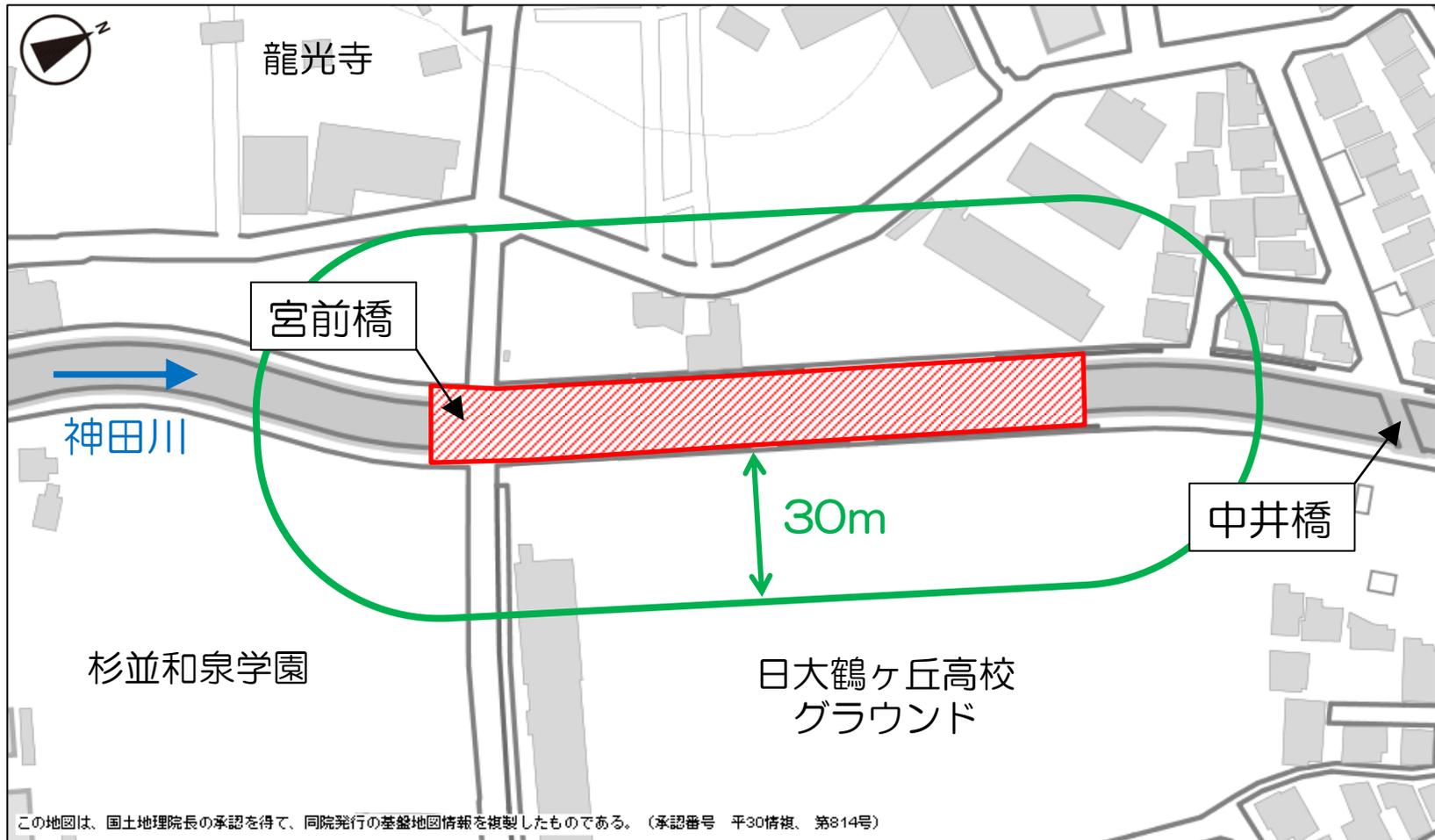
工事による近隣家屋への影響の有無について、
正確に判断する資料を得るため、
工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を
調査するものです。

⇒着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、
工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、
家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償します。

◆家屋への影響が想定される工事内容

- ・掘削、鋼管杭打ち込み時の振動など

家屋調査対象範囲

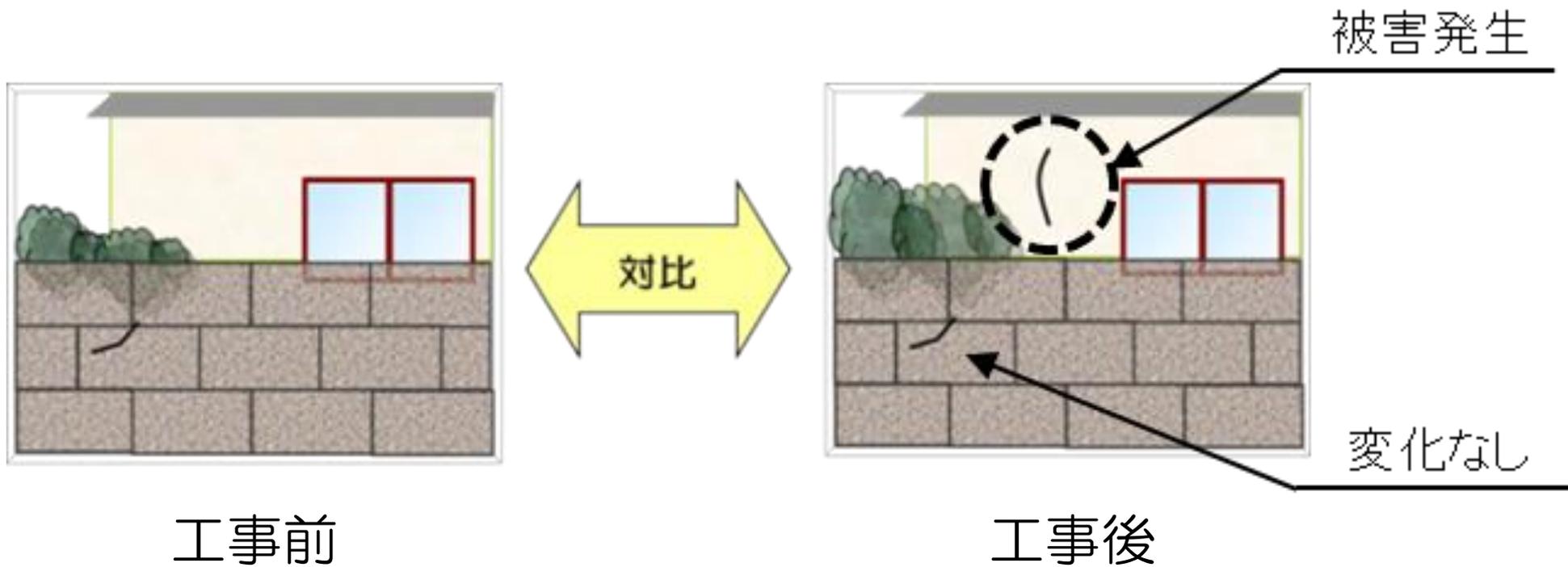


工事施工範囲



家屋調査範囲

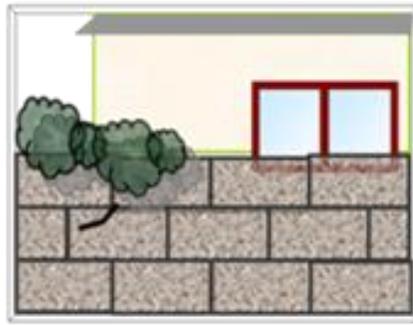
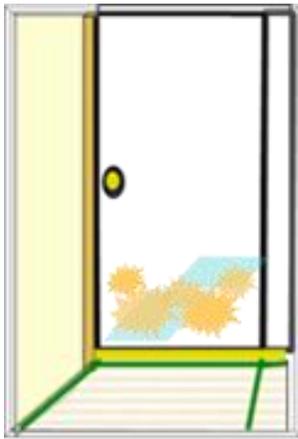
家屋損害の補償について



家屋調査の内容等

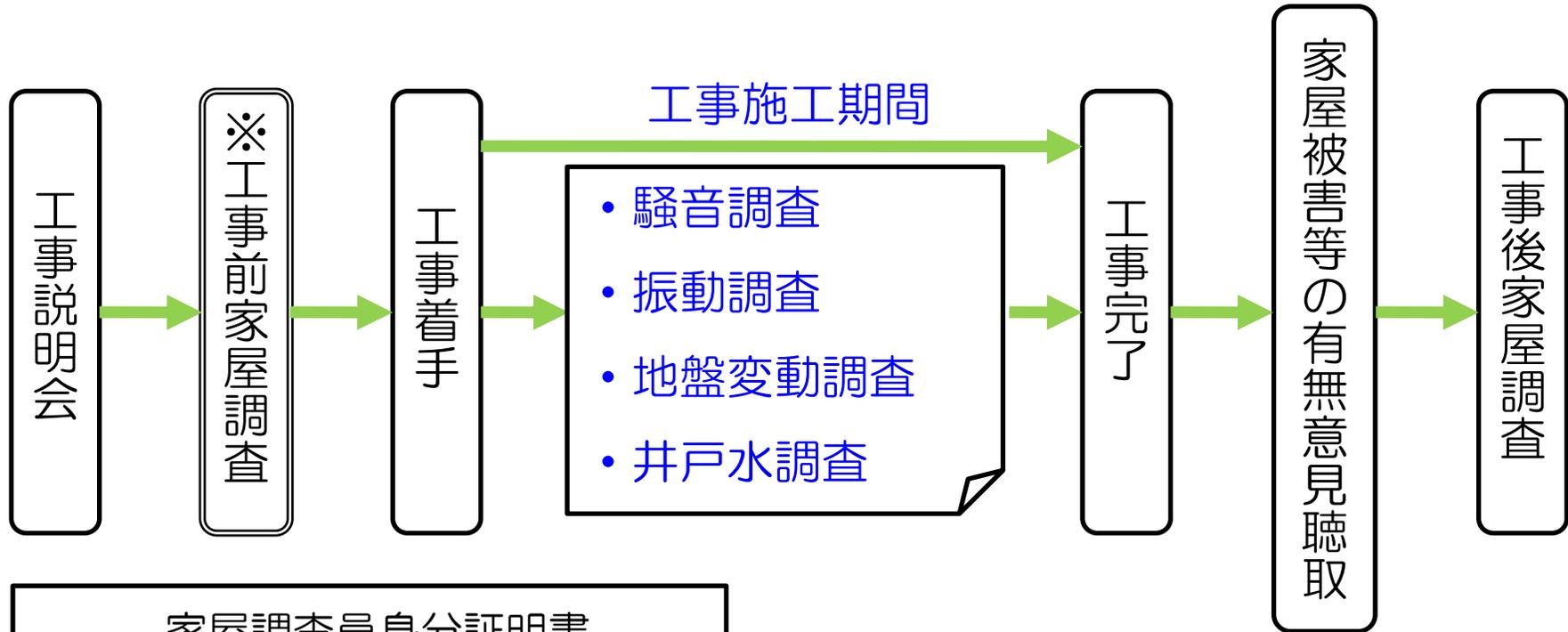
調査会社 株式会社 大和コンサルタント

調査内容 屋内：柱や床の傾斜測定
壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定
土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



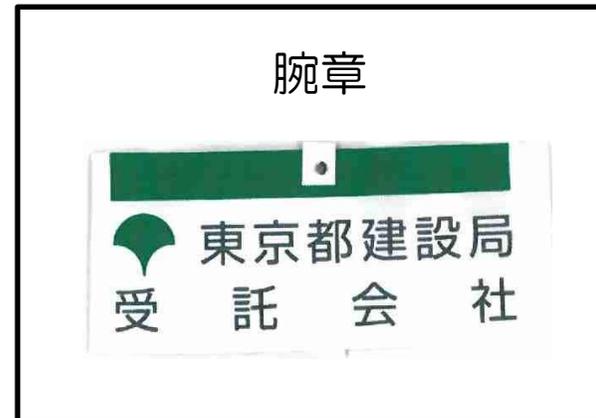
- ※調査の際には、皆様方のお立会いをお願いいたします。
- ※調査期間は7月下旬を予定しています。
- ※撮影した写真を含む個人情報厳重に管理いたします。
- ※調査結果については、ご要望があればお渡しいたします。

家屋調査手順について



家屋調査員身分証明書

<p>24〇建〇〇身第号</p> <p style="text-align: center;">身分証明書</p> <p>氏名 顔写真</p> <p>昭和 年 月 日生</p> <p>勤務先</p> <p>住所</p> <p>上記の者は東京都施行の下記委託に従事する者であることを証明する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 件名</p> <p>2. 委託場所</p> <p>3. 委託期間 自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">東京都〇〇建設事務所長 公印</p>	<p style="text-align: center;">注 意</p> <ol style="list-style-type: none"> この証明書は、標記委託に従事する場合には、必ず携帯し、関係人に請求があったときは、いつでも提示しなければならない。 この証明書の記載事項は訂正しない訂正したものは無効とする。 この証明書は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。 この証明書を紛失したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ届け出なければならない。 この証明書の有効期間は、委託期間とし、有効期間を経過したときは、すみやかに東京都〇〇建設事務所長へ返還しなければならない。
---	---



家屋損害賠償の手順について

工事後家屋調査 実施（外部への委託）

工事後家屋調査 取りまとめ



工事による家屋被害の認定



家屋復旧調査



賠償額提示



交渉・賠償額のお支払い（金銭による賠償）

はじめに

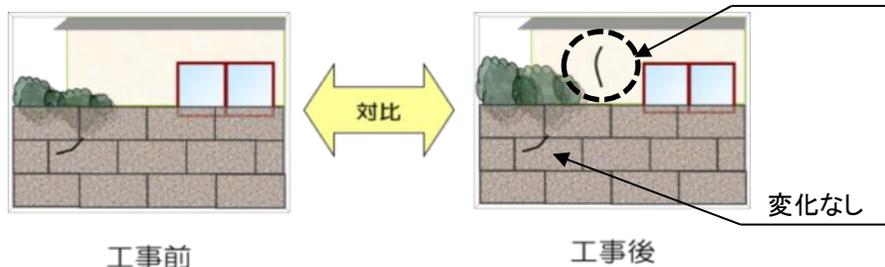
日頃より神田川整備事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。工事は、近隣家屋へ影響を及ぼさないように十分留意して進めて参ります。ここでは、工事に伴う家屋調査と損傷があった場合の損害賠償についてご案内させていただきます。

家屋調査とは

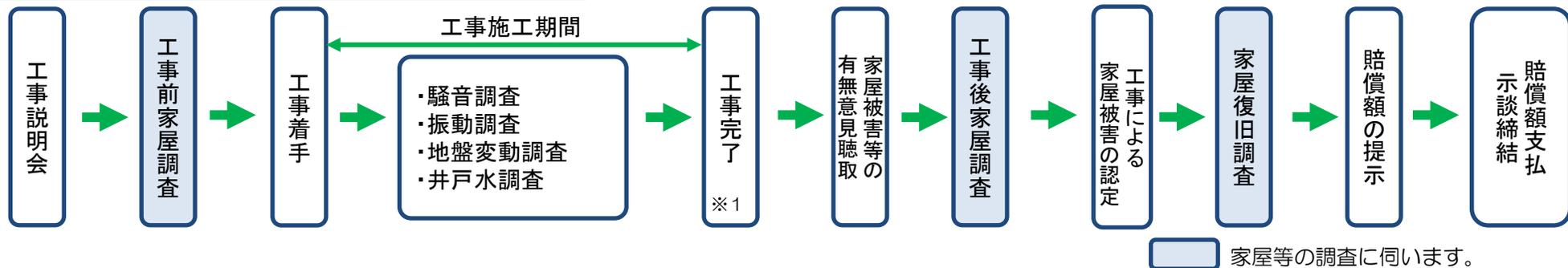
工事による近隣家屋への影響の有無について、正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するものです。着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償いたします。

【家屋への影響が想定される工事内容】

(例) 掘削、鋼矢板、支持杭打ち込み時の振動など



家屋調査・家屋損害賠償の標準的な流れについて



※1 工事の影響が複数の工事にまたがる場合には、影響する全ての工事が完了した時点となります。

※2 記載の期間はおよその目安です。対象件数、内容、規模によって変更となることがあります。

家屋調査の内容

屋内：柱や床の傾斜測定、壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）

屋外：壁や塀等の傾斜測定、土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※撮影した写真を含む個人情報は厳重に管理致します。

※調査は、都が委託した民間の調査会社が行います。

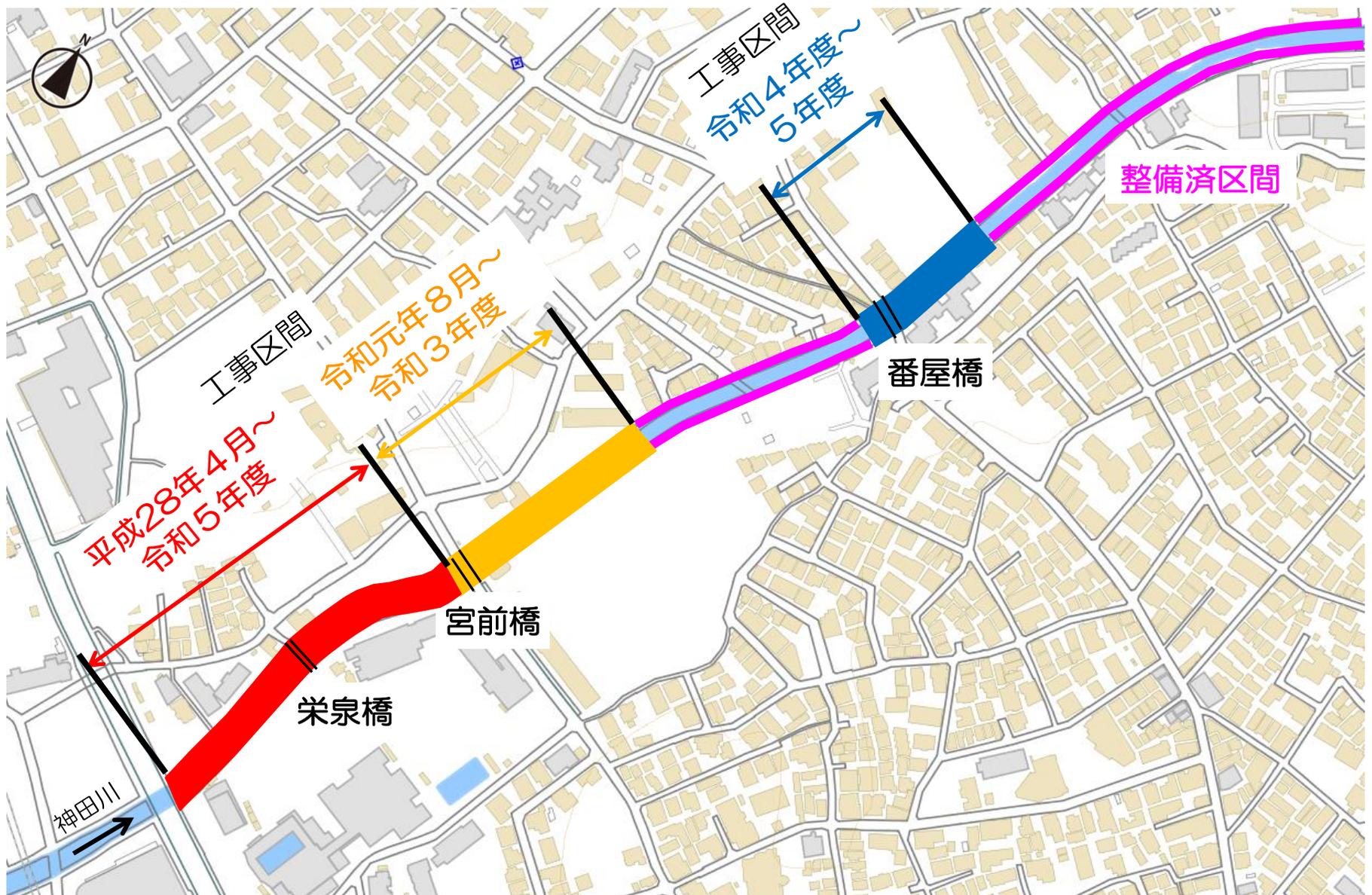
注意事項

- ① 調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償することができません。
- ② 工事前家屋調査～家屋復旧調査の間に家屋等の補修・外壁の塗装などを行う際には、事前にご連絡ください。確認が出来ないまま家屋の補修等が実施され、損傷と工事の因果関係を立証できなくなった場合には、賠償することができません。
- ③ 家屋損害賠償は、金銭による賠償となります。また、損害賠償額は、被害を認定した時点の単価を用いて統一した基準により算定します。

(問合せ先) 東京都第三建設事務所 工事第二課
工事に関すること 妙正寺川事業センター (03)3228-1419
家屋調査と損害賠償に関すること 工事担当(03)3387-2103
渉外担当(03)3387-2104

今後のスケジュール

神田川(番屋橋下流～神泉橋下流) 事業スケジュール



問い合わせ先

工事について、ご不明な点がございましたら下記の
連絡先までお問い合わせください。

発注者：東京都第三建設事務所工事第二課

みょうしょうじがわじぎょう

妙正寺川事業センター

なかしま

おかもと

中嶋・岡本

TEL：03-3228-1419

施工者：青木あすなろ・都市建建設共同企業体

現場代理人兼監理技術者

まきし

真喜志

TEL:03-6379-1731

河川工事の情報はこちら



URL

<https://kandagawa-seibi211.wixsite.com/kandagawa211>

※随時、情報を更新していきます